

第3章 総合科学部・国際共創学科における教育活動

第1節 学生の受入れ

1. 現状の説明

(1) 創設の経緯

現代社会は、地域紛争と国際テロの続発、移民・難民問題の深刻化、国際的国内的な経済格差の拡大、地球温暖化と異常気象などの様々な問題を抱え、これまでの世界秩序が崩壊し、その前提にある価値観の見直しさえも迫られている。こうした世界的変動期に見られる深刻な問題群は、国境や地域を超えて地球全体に広がり、相互に複雑かつ重層的な関係性を有している。そのため、それらの問題の原因の究明と解決には、当然地球の視点での取組が求められている。

昭和49(1974)年に発足した総合科学部総合科学科は、「学際性」、「総合性」、「創造性」を旨とした文理融合型の学際教育をこれまで行ってきており、現代社会において課題とされる様々な事象に対して、複数の学問分野からの知見や方法論を駆使して、課題の分析・解明と解決に向けて学際的・総合的にアプローチすることのできる人材養成を目的とした教育を実践してきた。

総合科学部は、ディプロマ・ポリシーに明記しているとおり、グローバルな視点から国際社会で活躍できる人材の育成も目標の一つに据えている。実際、広島大学で唯一、帰国生を受け入れるためのAO入試を実施し、学生の留学も積極的に推奨している。総合科学部の学生定員は広島大学全体の5.6%に過ぎないが、広島大学短期交換留学プログラムでは大学全体の31%、1年次のSTARTプログラムでは14%、その他の海外研修を含めると、18%が総合科学部の学生である(平成25年度から27年度までの3年間の実績)。

このように、国際指向性が強い総合科学部のさらなる国際化を推進し、日本人学生と外国人学生が共に学び、広島大学グローバルキャンパスのコアとなるべき学科として、国際共創学科を総合科学部に新設することとなった。

国際共創学科では、国家や民族の違いを超えて人々が交流するとともに、文化や宗教の多様性を互いに受容して、『国際社会』の抱える地球的問題や課題を文系・理系の枠を超えた広い視点から総合的・学際的(integrated)に思考し、協調的に『共に考え』、新しい国際社会と秩序を『創造する』ことを目指すことから、「国際共創」を学科名称とした。英語名称については、総合的・学際的(integrated)な視点や手法を用いて、地球的問題や課題(global issues)を教育研究(studies)することから、「Department of Integrated Global Studies」(以下「IGS」という。)とする。

(2) アドミッション・ポリシー(平成29年3月31日 公表)

「広島大学のアドミッション・ポリシー」に則り、本学部では、以下に示すアドミッション・ポリシーを定め、募集要項、ホームページ及び学部紹介パンフレットなどにお

いて公表している。

広島大学のアドミッション・ポリシー（求める学生像）

- 豊かな心を持ち平和に貢献したい人
- 知の探究・創造・発展に意欲のある人
- 専門知識・技術を身につけ、社会の発展に貢献したい人
- 多様な文化・価値観を学び、地域・国際社会で活躍したい人

総合科学部のアドミッション・ポリシー（求める学生像）

本学部では、豊かな教養を備えると同時に、幅広い知識を統合して問題解決を図ることができ、地域社会や国際社会に貢献できる人材の育成を目指しており、次のような人の入学を期待します。

- ①知的好奇心に富み、文理融合をはじめとする新たな学問的創造を求めることのできる人
- ②意見や文化的背景等の異なる人とも共同し、問題の解決に向かって努力できる人

総合科学部 国際共創学科のアドミッション・ポリシー（求める学生像）

- ①異なる国や文化、宗教を尊重し、学問分野の枠を超えて課題を理解し、世界平和に貢献したいと考えている人
- ②自然科学に関心があり、人と環境の調和を希求する人
- ③母語以外の言語の習得に意欲的であり、卒業後、国際社会で活躍できる人

(3) 入学者選抜の実施状況

平成 30～令和 3 年度の入学生を対象として実施した過去 3 年間の入学者選抜の実施状況は、表 3-1 のとおりである。年度により若干の志願者数の増減があったが、各年度とも適切な入学者選抜を実施することができた。

2. 点検・評価

(1) 一般入学試験（前期日程） ※令和 2 年度実施から一般選抜に変更

1) 入学定員について

1 学年入学定員 40 名のうち 20 名（50%）を一般入試の募集人員とし、文科系受験者、理科系受験者の受験区分から約半数を合格者となるよう設定している。

2) 志願者数について

4 年間の志願倍率は、ほぼ一定の水準を維持している。

3) 入学者数について

平成 30 年度は合格者 21 名全員、平成 31 年度は合格者 24 名のうち 22 名、令和 2 年度は合格者 23 名のうち 22 名、令和 3 年度は合格者 24 名のうち 23 名がそれぞれ入学した。

各年度とも募集人員に対する充足率を満たしている。

(2) 私費外国人留学生入試 ※令和2年度実施から外国人留学生選抜に変更

1) 募集人員について

7月実施, 2月実施ともに募集人員を設定せず, 若干名で募集している。

2) 志願者数について

7月実施: 志願者数は, 平成31年度は6名, 令和2年度は5名, 令和3年度は9名であった。(平成30年度未実施)

2月実施: 志願者数は, 平成30年度は1名, 平成31年度は1名, 令和2年度は5名, 令和3年度は8名であった。

3) 入学者数について

平成30年度は2月実施のみであったが, 合格者がいなかった。平成31年度は合格者3名全員が入学, 令和2年度は合格者2名全員が入学, 令和3年度は合格者5名全員が入学した。

(3) AO入試(国内選抜型, 国外選抜型, 帰国生) ※帰国生は平成30年度入学のみ実施
※令和2年度実施から総合型選抜(IGS国内選抜型, IGS国外選抜型)に変更

1) 募集人員について

国内選抜型: 入学定員総数40名のうち10名(25%)を国内選抜型の入学定員に設定している。

国外選抜型: 入学定員総数40名のうち10名(25%)を国外選抜型の入学定員に設定している。

帰国生入試: 平成30年度入学のみ実施した。

募集人員を設定せず, 若干名で募集した。

2) 志願者数について

国内選抜型: 志願倍率は, 平成30年度は5.3倍, 平成31年度は4.9倍, 令和2年度は7.1倍, 令和3年度は5.3倍であった。

国外選抜型: 志願倍率は, 平成30年度は1.1倍, 平成31年度は0.8倍, 令和2年度は0.8倍, 令和3年度は1.3倍であった。

帰国生入試: 平成30年度入学のみ実施した。

平成30年度の志願者数は2名であった。

3) 入学者数について

国内選抜型: 入学者数は, 平成30年度は18名, 平成31年度は12名, 令和2年度は14名, 令和3年度は11名であった。

国外選抜型: 入学者数は, 平成30年度は4名, 平成31年度は5名, 令和2年度は5名, 令和3年度は4名であった。

帰国生入試: 平成30年度の入学者数は1名であった。

3. 今後の方針

多様化する国際情勢のなか, いかにもアドミッション・ポリシーにしたがって学生定員を充足していくかについては, 全学の動向を踏まえながら現状を点検・評価し, 場合によっ

では大胆な入試制度の見直しを行うことも必要となろう。

平成 30 年度入学生選抜から、日本国外在住の留学生を含む多様な背景を持つ優秀な学生の獲得のため、本学の学部入試で初めてオンライン面接を実施し、受験のための渡日を不要とする渡日前入学許可制度を開始した。オンライン面接の実施により、これまでに多くの国と地域から学生を受け入れているが、さらなるグローバルキャンパス実現のため、これまで以上に多様な背景を持つ学生の受け入れが可能となるよう、引き続きオンラインも含めた広報活動を促進していく。

また、多種多様な国と地域からの出願希望者に対応するため、日本国外の教育制度等の知識をさらに蓄積し、出願資格に関する問合せ及び入学願書受付業務の円滑実施に努める。

なお、留学生獲得と併せて、本学科のもう 1 つの課題である優秀な理系学生獲得のため、一般選抜（前期日程）理科系において、個別学力試験のため数学Ⅲを含めた数学の受験対策をしている理系学部を目指す受験生が、受験先として本学科を選択しやすいよう、令和 6 年度入学者選抜から、個別学力試験の科目を理科から数学に変更することを本学ウェブサイトで公表した。以上のような入試制度の見直しについては、その後の状況を分析し、今後その効果について検証していく必要がある。

表3-1 入学者選抜実施状況

○平成30年度入学試験実施状況（平成29年度実施）

項目	一般入試		私費外国人留学生入試	
	前期日程	2月実施 若干名	7月実施 若干名	2月実施 若干名
募集人員	20	-	-	-
志願者数	87	-	-	1
志願倍率	4.4	-	-	-
受験者数	84	-	-	1
合格者数	21	-	-	0
受験倍率	4.0	-	-	-
入学者数	21	-	-	0
充足率	105	-	-	-

項目	AO入試		
	国内 選抜型	海外 選抜型	帰国生
募集人員	10	10	若干名
志願者数	53	11	2
志願倍率	5.3	1.1	-
受験者数	30	9	2
合格者数	19	4	1
受験倍率	1.6	2.3	-
入学者数	18	4	1
充足率	180	40	-

合格者総数 45名
入学者総数 44名

○平成31年度入学試験実施状況（平成30年度実施）

項目	一般入試		私費外国人留学生入試	
	前期日程	7月実施 若干名	2月実施 若干名	7月実施 若干名
募集人員	20	-	-	-
志願者数	73	-	-	6
志願倍率	3.7	-	-	-
受験者数	72	-	-	5
合格者数	24	-	-	2
受験倍率	3.0	-	-	-
入学者数	22	-	-	2
充足率	110	-	-	-

項目	AO入試	
	国内 選抜型	国外 選抜型
募集人員	10	10
志願者数	49	8
志願倍率	4.9	0.8
受験者数	29	6
合格者数	14	5
受験倍率	2.1	1.2
入学者数	12	5
充足率	120	50

合格者総数 46名
入学者総数 42名

○令和2年度入学試験実施状況（令和元年度実施）

項目	一般入試		私費外国人留学生入試	
	前期日程	7月実施 若干名	2月実施 若干名	7月実施 若干名
募集人員	20	-	-	-
志願者数	60	-	-	5
志願倍率	3.0	-	-	-
受験者数	56	-	-	4
合格者数	23	-	-	0
受験倍率	2.4	-	-	-
入学者数	22	-	-	0
充足率	110	-	-	-

項目	AO入試	
	国内 選抜型	国外 選抜型
募集人員	10	10
志願者数	71	8
志願倍率	7.1	0.8
受験者数	29	8
合格者数	15	5
受験倍率	1.9	1.6
入学者数	14	5
充足率	140	50

合格者総数 45名
入学者総数 43名

○令和3年度入学試験実施状況（令和2年度実施）

項目	一般選抜		外国人留学生選抜	
	前期日程	A日程 若干名	B日程 若干名	8
募集人員	20	-	-	-
志願者数	58	-	-	9
志願倍率	2.9	-	-	-
受験者数	55	-	-	4
合格者数	24	-	-	1
受験倍率	2.3	-	-	-
入学者数	23	-	-	1
充足率	115	-	-	-

項目	総合型選抜	
	国内 選抜型	国外 選抜型
募集人員	10	10
志願者数	53	13
志願倍率	5.3	1.3
受験者数	20	13
合格者数	13	7
受験倍率	1.5	1.9
入学者数	11	4
充足率	110	40

合格者総数 49名
入学者総数 43名

第2節 教育の実施体制と成果

1. 現状の説明

(1) プログラム編成

国際共創学科では、「学際的思考力」涵養のために、リベラルアーツ教育に立脚しながら、人間科学、社会科学、自然科学の分野を超えて、文理融合・学際的な専門教育を実施する。2年次から総合科学部共通科目を履修し、その後、国際共創科目を履修する。

総合科学部共通科目においては、文理融合の学際教育を行ってきた総合科学科の実績を活かし、国際社会の諸問題を考える上で基礎となる様々な学問分野の基礎的な知識や方法論を学ぶ。これにより、多面的・学際的にアプローチすることの重要性を理解し、その基礎力を養成する。国際共創科目は、国際共創を実践する上で中核となる科目であり、「文化と観光」、「平和とコミュニケーション」、「環境と社会」の3つの視点から学修することで、国際社会の抱える諸問題を把握し、同時に学際的にアプローチすることのできる能力を養成する。

1) ディプロマ・ポリシー（平成29年3月31日 公表）

国際共創プログラムでは、「学際的思考力」、「地球的展望」、「協調的行動力」を基本理念とし、コミュニケーションのための語学力の育成と、リベラルアーツ教育に立脚した専門教育を行うことで、国家や民族、文化や宗教の違いを超えて、地球的な視座から物事を捉え、課題の発見やその背景の解明、課題克服に必要な専門的知識と思考力に立脚しつつも、学際的知識と幅広い洞察力を合わせ持つ、自主的・自律的な人材を養成します。そのことにより、立場の違う他者と協調的に関わることも可能であり、かつ、問題解決に向けて協働的に関われることができ、国際共創を実践できる能力を養成します。

本プログラムでは、以下の能力を身につけ、教育課程の定める単位数を修得した学生に「学士（総合科学）」の学位を授与します。

- ①学際的思考力：国際社会の抱える課題を文理の多角的な視点から理解・分析することができる。
- ②地球的展望：国や地域、文化や宗教、言語等の違いを超えて他者を理解し、人間社会とそれを取り巻く自然を包含した地球的視点でものごとを考察できる。
- ③協調的行動力：国際社会の抱える課題に対して、平和を希求する心を持って対応し、国際平和・人と自然の調和のために協調的・創造的に取り組むことができる。

2) カリキュラム・ポリシー（平成29年3月31日 公表）

国際共創プログラムが掲げるディプロマ・ポリシーを達成するために、以下の教育課程を編成し、実践します。

- ①国際共創プログラムでは、「学際的思考力」涵養のために、リベラルアーツ教育に立脚しながら、人間科学、社会科学、自然科学の分野を超えて、文理融合・学際的な専門教育を実施します。2年次から総合科学部共通科目を履修し、そ

の後、国際共創科目を履修します。これらの科目は原則として1科目が8週で完結する1単位科目として実施します。多くの学問分野に触れることで、学生は幅広い知識を獲得することができます。これにより「地球的展望」の視座から事象をとらえる能力と「学際的思考力」を育成します。その際、総合科学科や他学部の授業を受け、専門性を深化させることや、他の分野についてより学際的に学修することも可能です。4年次の特別研究の作成は、十分な専門性と「学際的思考力」を具体化する実践的な教育課題とします。

- ② 1年次は、語学を含む教養教育科目を履修します。また、教養教育と並行して、1年次前期に開講する「教養ゼミ」、「日本文化事情Ⅱ」および1年次後期に開講する「海外文化事情Ⅰ」で、「3つの視点」、すなわち「文化と観光」、「平和とコミュニケーション」、「環境と社会」について学びます。これらの科目における講義や学生間の討論などを通じて、国際社会の抱える諸問題に対する学際的アプローチについて理解を深めます。
- ③ 2年次は、総合科学部共通科目を履修し、国際社会の諸問題を考える上で基礎となる様々な分野の基礎的な知識や方法論を学ぶとともに、国際共創コア科目を履修し、国際共創学を学ぶ上で基礎となるリテラシーを育成します。さらに、これらを基盤として、3つの視点で開設される国際共創科目をバランスよく履修することで、国際共創に役立つ知識・技能・思考力等を学問分野の枠を超えて幅広く学びます。また、日本語母語学生は、半年程度の留学を行い、留学先で修得した単位を自由選択科目の単位として認定します。アドバンストの語学科目の受講も2年次から可能とします。
- ④ 3年次は、引き続き専門性を高める国際共創科目を履修するとともに、多文化、多国籍、異なる専門分野の学生とのグループワークを体験する問題解決演習、グローバルインターンシップ科目を履修します。ここでは、専門性を高めるために、日本語で開講される総合科学科や他学部開講科目も自由選択科目として履修することができます。他言語母語学生にとって、総合科学科で開講されている日本語による専門科目を履修することは、高度な日本語修得に有効です。
- ⑤ 4年次は、特別研究を行います。特別研究は、以下の2つのうちいずれかを選択します。

ア 研究志向コース

「学際的思考力」と専門性を高めるため、特別研究を実施し、6単位を課します。日本語母語学生は英語で、他言語母語学生は日本語又は英語で卒業論文を執筆します。複数分野の視点や方法を総合的に活用するように指導します。大学院進学を視野に入れた教育を行います。

イ 就職志向コース

「協調的行動力」を涵養するため、企業等とのコラボレーションによる社会連携セミナーと、それに関連するショートペーパーにより、特別研究の6単位を修得します。なお、ショートペーパーは、日本語母語学生は英語で、他言語母語学生は日本語又は英語で執筆します。

(2) 学年進行カリキュラム

1年次は、語学を含む教養教育科目を履修する。教養コア科目として、学生は大学で学ぶために必要なスキルを身に付ける「大学教育入門」、学科ごとに少人数グループで実施される「教養ゼミ」、広島大学の特色である平和教育を行う「平和科目」及び「領域科目」を履修する。教養ゼミでは、学生がグループごとに、本学科教員にインタビューを実施し、最後に教員紹介のプレゼンテーションを実施している。これを通じて、英文メールの作成方法、図書館での文献調査方法、PPTの作成方法などの基礎的なスキルを身に着ける。領域科目は、チューターの指導のもと、各学生が自らの問題関心に沿った適切な科目を選択して履修する。領域科目は基盤科目と社会連携科目を含めて24単位履修し、特に「日本文化事情」、「海外文化事情」に関連する科目については8単位の必修として受講する。1年次後期の途中の1月中旬に自らの問題関心に基づき、学生は各々視点（文化と観光、平和とコミュニケーション、環境と社会の3つの視点）の希望に関する調査票を提出し、IGS教務小委員会と1年次生担当チューターが学生の意志を最大限に尊重しつつ、視点希望調査票の内容をよく検討した上で、それぞれの視点を決定・通知するシステムを採用している。

2年次は、リベラルアーツ教育の基盤となる総合科学部共通科目、国際共創コア科目及び国際共創科目などの専門教育科目を履修する。総合科学部共通科目は国際共創学科及び総合科学部の教員が担当し、英語又は日本語で開講される。総合科学部共通科目は、多様な視点からの知識により「学際的思考力」を養うため、多くの授業科目の履修を目的として8回の講義で完結する1単位の授業とする。また、グループワークを取り入れて学生間の交流を促し、「協動的行動力」の育成とともに、知識の獲得と活用の双方を促すことを目的とする。学部共通科目は選択必修とし、人間科学・社会科学・自然科学の3つの分野それぞれから2科目以上を選択させ、10単位を取得するものとする。国際共創学を学ぶ上で基礎となるリテラシーの育成を目的に開設するのが国際共創コア科目である。国際共創の基盤となるべき自然環境の理解、平和構築の基本的な考え、異文化交渉力や世界の統計資料を理解しデータを多面的に分析する情報処理能力の獲得を重視し、これらに関連する科目（4単位）を必修として合計12単位履修する。日本語母語学生は、1年次に「英語特別演習（Special English Training for Studying Abroad）」を履修した後、コミュニケーションのための語学力の向上と「地球的展望」に関わる知識や視点の獲得のため、2年次後期に半年程度の海外留学を必修とする。留学先は英語圏や英語で教育課程を提供している大学、初修外国語に関連する地域の大学とする。留学先で修得した専門科目の単位は、自由選択科目として認定する。

3年次は、専門性を高める国際共創科目、多文化、多国籍、異なる専門分野の学生とのグループワークを体験する問題解決演習、グローバルインターンシップ科目を受講する。ここでは、専門性を高めるために、日本語で開講される総合科学部や他学部開講科目も自由選択科目として受講することができる。他言語母語学生にとって、総合科学部で開講されている日本語による専門科目を履修することは、高度な日本語修得に有効である。

4年次は、特別研究を行う。特別研究は専門性を高める研究志向コース又は社会連携セミナーの受講などを通して、社会との接点を深める就職志向コースから選択する。研

究志向コースは、「学際的思考力」と専門性を高めるため、特別研究を実施し、6単位を課す。複数分野の視点や方法を総合的に活用するように指導し、特別研究論文を作成する。また、大学院進学を視野に入れた教育を行う。就職志向コースは、「協調的行動力」を涵養するため、企業等とのコラボレーションによる社会連携セミナーを受講し、実践的な特別研究論文を作成し、6単位を修得する（図3-2-1）。

具体的な授業科目については、表3-2-1～4に年度ごとにまとめている。



図3-2-1 学年進行カリキュラム全体図

(3) 特別研究指導体制

3年次終了までに、100単位以上の修得と、日本語母語学生は海外留学を修了していることを条件に、関係する視点の教員複数名との面談等を通じて、3年次の第4タームから特別研究指導を開始する。主指導教員1名に加え、個々の学生に2名以上の副指導教員を選定する。副指導教員には、総合科学科や他学部の教員を充てることができる。

(4) 期待される効果

現代社会は、地域紛争と国際テロの続発、移民・難民問題の深刻化、国際的国内的な経済格差の拡大、地球温暖化と異常気象などの様々な問題を抱え、これまでの世界秩序が崩壊し、その前提にある価値観の見直しさえも迫られている。こうした世界的変動期に見られる深刻な問題群は、国境や地域を超えて地球全体に広がり、相互に複雑かつ重層的な関係性を有している。そのため、それらの問題の原因の究明と解決には、当然地球的視点での取組が求められている。このような社会情勢の急激な変化の中にあって、大学に求められるのは、文化や宗教、社会制度などの人文社会科学的な知識に加え、資源やエネルギー、自然災害などに関わる自然科学的知識、さらに高度なコミュニケーション能力と、国家や民族、文化や宗教の多様性を尊重し、既存の文系・理系の枠を超えた発想から問題解決に貢献できる人材を育成することである。日本人学生においては、英語によるコミュニケーション能力と国際社会に関する幅広い知識、解決のための学際的技能を身に付けることが大切であり、日本で学ぶ外国人学生においては、国際的視点

にくわえて日本や日本社会への深い理解と洞察力，課題解決に向けた学際的知識・技能が求められる。

(5) 卒業生数・資格取得状況・受賞状況の概要

卒業生数：令和3年度 36名

受賞状況：令和3年度 岡本賞 2名，優秀論文賞 2名

(6) 学生独自プロジェクト（学部共通）

令和2年度の大学院再編にともない，それまで総合科学研究科の大学院生を対象としていた学生独自プロジェクトに学部生も応募が可能となるように対象を拡大した。その結果，令和2年度以降は，大学院生だけではなく学部生からも応募があり，各プロジェクト上限30万円とする支援を行った。本プロジェクトは，総合科学部の理念（学際性，総合性，創造性）に合致した創意工夫のある活動（学際的研究プロジェクト，学際的学習の促進活動等）の活性化を目指し，学生自身で企画・遂行するプロジェクトを支援することを目的とする。プロジェクトの申請にあたっては，複数の学生が共同して，プロジェクトサポート教員の助言を得ながらも自主的に研究や社会活動等の計画を立て，計画調書および経費計画書を作成する。提出された調書等は，学部長室会議において審査（必要に応じてヒアリング）され，採否が決定される。プロジェクトの成果は，3月に開催される成果報告会で口頭報告されるとともに報告書の提出が求められる。また，11月に開催されるホームカミングデーの総合科学部企画においても一般に公開される。

過去2年間に於いて採択されたプロジェクトは表3-2-5のとおりであり，院生・学生は創意工夫のある 独創的な研究または活動に対して意欲的に取り組んだ総合科学研究科の学生独自プロジェクトについては第4章第2節を参照。

2. 点検・評価

(1) 効果が上がっている事項

1) 特別研究について

岡本賞を受賞した1期生（令和3年度卒業）の特別研究（卒業研究）題目（特に優秀な論文）を以下に示す。

- ・ Self-identity and militarization: Towards a psychological theory of refugee militarization
- ・ Shallow Landslide Risk Map based on Forest Inventory Data in Miyajima

2) 「日本文化事情 I・II (Contemporary Issues of Japan I, II)」, 「海外文化事情 I・II (Contemporary World Issues I, II)」, 「問題解決演習 (Project-Type Problem Solving Research)」について

国際共創学科では平成30年度より，「日本文化事情 I・II (Contemporary Issues of Japan I, II)」, 「海外文化事情 I・II (Contemporary World Issues I, II)」が

領域科目における必修科目として導入されている。これらの導入の意図は、日本人学生と外国人学生が共に学ぶことで、日本人学生は海外の文化や習慣について理解し、外国人学生は日本文化に接し、日本文化への理解を深めることができるようにするというものである。また、両科目ともに国際社会に関する幅広い知識、解決のための学際的スキルを身に付けるための基礎的な科目として、開設されているものでもある。「日本文化事情」では日本の家制度や教育制度、日本における民族とその多様性、日本での働き方、政府と政治などを具体的なトピックとしつつ、分野を越えた学習・研究のあり方について学ぶ機会を受講生に提供している。「海外文化事情」では視点ごとに異なる題材にフォーカスして授業を行なっている。それを通してそれぞれの分野で用いられている研究方法に習熟すると同時に、国際社会の抱える諸問題を分析・解決する上で、学際的なアプローチが重要であることを、具体的な事例及びグループワークを通して学び、グローバルに展開する諸問題を理解・分析する素地を育成することを目的としている。

また、「問題解決演習(Project-Type Problem Solving Research)」は3年次に履修する科目であり、「学際的思考力」と「地球的展望」を実践的に活用し、さらに「協働的行動力」を育むための科目である。日本人学生・外国人学生及び文系学生・理系学生を組み合わせるグループを構成し、国際的な課題に関わる問題とすべき事項の抽出や解決のためのアプローチ・方法論について英語でグループワークを行っている。その後、学生は自ら問題を立ててそれを解決するための調査及びフィールドワークを実施し、調査により得られた結果を英語で報告する、インターナショナル・ワークショップを最終の授業回に実施している。

3) 平成 30～令和 3 年度点検評価の結果について

「学士課程教育における自己点検とその改善に関する年次報告書」は、令和 2 年度、令和 3 年度の分析項目 6-4-3 (授業科目の成績評価や単位認定)、分析項目 6-6-4 (学習成果) の評価 4 を除き、すべての基準で評価 5 となっている(表 3-2-6～9)。令和 3 年度に第 1 期生が卒業したが、卒業時アンケートの「総合的に判断して専門教育の授業に満足しているか」の項目において、81.5%の学生が「大変満足している」「満足している」と回答しており、十分な教育効果を上げたと判断できる。

4) 視点横断的な履修について

「文化と観光」、「平和とコミュニケーション」、「環境と社会」の3つの視点の中でも特に中核となるべき知識を獲得させるため、国際共創科目の各視点の科目から2科目ずつ必修科目を設定するとともに、これらの科目を中心に履修を展開することによって、国際社会の抱える諸課題を分析し、背景の解明と解決に向けて必要となる知識やスキルを幅広く学び、国際共創に向けての学際的なアプローチを実践する知的基盤を育成するよう、指導方法を工夫している。

国際共創科目で履修する26単位のうち、各視点から必修科目2単位を含む6単位以上を履修し、バランスのとれた知識を獲得するとともに、特に興味を持った視点の科目を重点的に履修することもできるよう配慮している。

5) 入学前教育について

令和元年度入学生から、外国人留学生選抜7月実施（国外選抜型）および光り輝き入試AO入試による合格者に対して、入学前教育を開始した。英語能力に応じた科学系の教材を読み、英語で要約を作成・提出させ、大学院生による添削を行っている。また、文理融合の総合的な学際教育を重視するため、基礎的リテラシー科目として数学の学習を課している。さらに、来日後にスムーズに日常生活に慣れることが出来るよう、日本語の初修者等に対しては基礎的な日本語学習を課している。

6) 必修留学について

国際共創学科の留学は、学生自身がどの大学で何を学びたいかを考え、必要な情報収集と準備を行って、留学先の候補を決定する。原則として2年次後期に、広島大学の交換留学プログラム（HUSAプログラム等）を利用し、本学の協定大学に留学する。留学先では、学生が選択した視点の学修に必要な科目や関連する科目を英語で履修し、専門分野の知識を深めると同時に、日本とは異なる観点から学ぶことで、専門分野を多角的に理解し、解決すべき課題や解決方法を柔軟に思考する能力を習得することを旨とする。このため、入学後の早い段階から留学に向けた準備を行うことが重要である。学科専属のUEA（university education administrator）を雇用し、1年次の前期から学科独自の留学ガイダンスを複数回実施し、個別の留学相談等を行う等により、充実度の高い留学に繋がるよう支援を行っている。

国際共創学科では、いわゆる英語圏だけでなく、専門科目を英語で提供しているアジアやヨーロッパ等への留学も奨励している。これまでの留学実績は、韓国、台湾、香港、タイ、マレーシア、シンガポール、フィリピン、英国、イタリア、スペイン、スウェーデン、フィンランド、ポーランド、リトアニア、ロシア、米国、オーストラリアなど、さまざまな国と地域に広がっている。

7) インターンシップについて

社会における「協調的行動」の実践の場として、3年次にインターンシップを実施している。「グローバルインターンシップ科目」は事前学習であるインターンシップオリエンテーションと、事後学習であるインターンシップリフレクションを合わせて6単位を必修とする科目である。国際展開企業インターンシップコース、海外インターンシップコース、地域活動インターンシップコースの3コースから個々の学生のニーズにより選択する。ビジネス日本語能力が不十分な学生に配慮し、日本人学生と外国人学生のペア参画等の工夫も行っている。インターンシップの実施は、主に広島大学と包括提携を結んでいる企業や行政機関等の協力を得て行っている。インターンシップ派遣にあたっては、UEAが、受入れ企業・機関との事前の連絡調整、学生への情報提供、学生の希望を考慮した派遣先選考案の作成、実施後のお礼状の送付等を行い、円滑な実施に向けてきめ細かな支援を実施している。なお、学科と提携している企業・機関以外にも、学生が独自に探したインターンシップ先での実施も可能とし

ており、この場合は、実施期間や内容等をあらかじめチューターが確認したうえで、IGS 教務小委員会にて実施先として承認することとしている。

8) EMI (English-medium instruction) 教員へのサポートについて

国際共創学科は日本人と留学生と一緒に英語で学ぶ環境であることから、教員は学生の英語力、これまでの修学経験、専門分野の基礎知識等を考慮した授業を行わなければならない。より効果的な授業実施のために、国際共創学科の授業科目を担当する教員を対象として、英語による教授法や授業運営に関する Oxford EMI training の研修を令和3年度に実施した。なお、初回の参加者は7名であった。

5日間の研修を通して、EMIの目的、第二言語の学習や教育に関わる理論や知識、異なる教授法を実践的に学ぶことが出来た。

事前・事後アンケートを行い、結果を比較したところ、参加者のEMIに対する意識の変化および授業改善への意欲が認められた。特に、これまで各教員が独自に行ってきた創意工夫の共有が出来たこと、それに加えて最新のEMI授業の情報や知識を再確認できたことは大きなプラスであった。より質の高いEMI授業を提供するためには、各教員が教授法や授業運営における知見を有することが望まれる。この点を踏まえ、参加した7名の教員は、今回の研修で学んだ内容を他の教員と共有したいと考えている。具体的には、教員間の情報や課題の共有ができるプラットフォームの構築や、全学を対象としてEMIに関わるFD(faculty development)の提供を検討している。

(2) 改善すべき事項

1) 教員数の減員

広島大学全体での教員数の削減が進む中、全学人事制度の変更に伴って、定年退職教員や転出教員の後任が補充される見込みは低く、加えて財政難の折、将来的にはその担当授業を客員教授等によって継続開講することも困難となることが想定される。このような状況においても十分な教育効果を維持するために、国際共創学科の視点横断的なプログラムの利点を生かし、各専門分野を越えた自由度の高い履修制度を設けている。しかしながら、今後さらに教員数が減少すれば、履修制度の工夫だけでは各専門分野における専門教育科目の提供が困難になることが予想され、各専門分野内の授業科目群の再編成が課題となる。

3. 今後の方針

(1) 学生指導体制の向上

学生指導を組織的かつ効率的に行うため、3つの視点（「文化と観光」、「平和とコミュニケーション」、「環境と社会」）からの代表教員で構成されたIGS教務小委員会が学生へのチューターの割り振りを行っている。

学部1-3年次は、原則として同じチューターが学生指導を行う。チューターは、1年次の教養ゼミを担当する。2年次進級時には、学生の選択した視点の教員が第1または

第2チューターとなるよう、IGS 教務小委員会の議を経て調整を行う。学生はチューターの指導を受けながら履修計画を作成し、それに基づいて履修する。専門についてのアドバイスが必要な場合は、学生がチューター以外の教員に相談することもできる。

チュータリングの内容は IGS 教務小委員会で情報共有し、学科教職員全員の協力のもと、必要に応じて、適切な学問分野の教員によるアドバイス、UEA、事務担当者との協議など、チュータリングに必要なサポートが行える指導体制を取っている。特別研究の指導教員が決定した3年次第4タームからは、特別研究の主旨導教員がチューターを担当する。

学生のチュータリングは、総合科学部では eポートフォリオを用いる。eポートフォリオには、学生の履修計画、興味や関心、将来への展望のほか、学生の成績が記録され、そのデータをもとに学生指導が行われる。そのことにより、学生のニーズに合わせた最適な授業科目を履修することのできる体制を整えている。学生にとっては、eポートフォリオに自分の興味や将来設計を書くことで、自分のやるべきことを明確にするとともに、その到達の程度を知ることができるため、自分の現状を意識し、学習への動機づけを高めることができる。

eポートフォリオはウェブ上に情報を蓄積することから、チューターが交代しても情報を継続して用いることができる。

(2) 教育の質の向上

授業改善アンケート評価に基づき、評価点が高い教員を講師としたプログラム内FDを実施し、教員内で問題意識を共有するとともに、より良い授業方法の学習を行う。また、PBL型授業(「反転学習」を含む)の実施をより多くの授業で実施していくことが、より一層重要となろう。

国際共創学科ではすべての専門教育の授業が英語で行われているため、英語を用いて授業を行う教員への支援を充実させるとともに、具体的な授業改善を図ることが是非とも必要である。さらにその結果を次の学期末に報告し、意見交換を行うなどPDCA(plan-do-check-action)のサイクル化を図り、さらなる授業改善に向けた努力を継続していかなければならない。

(3) 国際共創プログラム導入による留意事項

国際共創プログラムにおけるカリキュラムでは、1年次の冬に学生は「文化と観光」、「平和とコミュニケーション」、「環境と社会」の3つの視点から1つの視点を選択し、2年次以降は選択した視点を中心に履修しつつ、他の視点からも各自の関心に応じた関連分野を履修することになっている。これらの視点は狭い学問分野の中に学生を閉じ込めるのではなく、学生には視点横断的な履修を促すことで、複数の学問分野における知見と方法を総合的に用いて、国際社会における問題に取り組む上で必要なパースペクティブを学生に身に付けさせることを目的としている。また、それぞれの視点の内部でも、提供される授業科目はさまざまな学問分野にまたがっている。

視点の選択は学生が自らの関心に基づき、自由に行うものであるが、学生がどのような入試区分により国際共創学科に入学したかということと、視点の選択の間には関係が

ある。単年度のデータになるが、平成 30 年度入学生に関しては、文科系入試を受けて入学した学生の全員が文化と観光の視点を、さらに理科系入試を受けて入学した学生の 70%が環境と社会の視点を選択しているというように、高校までの学習の状況に視点の選択が強く影響されていることが伺える。AO 入試を受けて入学した学生の視点の選択はそれらに比べて多様だが、自然科学分野の授業科目が多く含まれる環境と社会の視点を選択するものは 1 割ほどであり、AO 入試を入り口として国際共創学科に入学する学生の関心が、文系にやや傾いているということがわかる。

国際共創学科も総合科学部の中にある学科であり、文理融合の総合的、学際教育を重視するという理念は、総合科学科と共通している。この理念の実現をさらに押し進めていくために、高校までの文系・理系という学習の枠組みに制約されず、学生が多様な領域の授業科目を履修することができるようなサポートの仕組みをつくる必要があるだろう。そのために、大学入学後は教養科目において、その後の専門科目の履修可能性を大きく左右する基礎的なリテラシー科目の受講を、学生に強く勧めることが重要であると思われる。それは、具体的には専門教育において自らの興味・関心に適合的な授業を多様な領域の中から選択して履修するためには、文科系入試や AO 入試を受けて入学した学生も、導入的なレベルの大学数学には精通しているべきだということである。高校までの数学の内容の習熟度に不安がある学生には、大学入学前の準備教育として、適切な教材を用いて高校数学の内容を自習させるといった取り組みも積極的に行っていくべきだろう。第 2 期生である平成 31・令和元年度入学生から、AO 入試などの早期に入学が決定した合格者に対して入学前教育を開始しており、内容については今後も検討していく。

国際共創プログラムに入学した学生が、在学中にどのようなことを学んだかを把握し、それを今後の学生指導に生かしていくために、学生の履修状況などについてデータを蓄積していく必要がある。データとして残すべき項目として、入試区分別の視点の選択状況、入試区分と教養科目の履修の関係、視点ごとの卒業論文のテーマなどがある。

(4) 大学院進学率の向上に対して

国際共創学科の 3 つの視点選択の決定直後のできるだけ早い時期に、学生に各自の将来像を考えさせることが望ましい。その際、専門性を活かした職業に就きたい学生にとっては、学部卒業レベルの知識・技量では不十分であることも考えられる。その場合には、その点を十分意識させる丁寧なガイダンスの開催も検討される必要がある。また、大学院の改組にともない、国際共創学科を卒業した学生が主に進学する学内の研究科も、3 つにまたがっている。学士課程で学んだ知識や専門性をさらに深化させ、職業選択の幅を広げるためには、どの大学院研究科に進学する必要があるかを学生によく理解させることが不可欠である。そのために、指導教員の間で卒業論文のテーマや、どのような方法で研究に取り組んだかなどについて、情報を共有しておくことが有益である。

表3-2-1 平成30年度 国際共創学科専門授業科目

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修区分	配当年次		
人間科学分野	World Englishes (世界の英語)	1	選択必修	2		
	Foreign Minorities in Japan (日本のマイノリティ)	1		2		
	Japanese Buddhism (日本の仏教)	1		2		
	Cognitive Psychology (認知心理学)	1		2		
	Hinduism and Buddhism in South Asia (南アジアのヒンドゥー教と仏教)	1		2		
	Japanese Arts and Aesthetics (日本の美学と芸術)	1		2		
	New Media and Art (ニュー・メディアとアート)	1		2		
	Social Psychology (社会心理学)	1		2		
	意味の世界 I	1		2		
	意味の世界 II	1		2		
	ニュー・メディアとアート	1		2		
	認知と学習 I	1		2		
	認知と学習 II	1		2		
	身体運動科学概論 I	1		2		
	身体運動科学概論 II	1		2		
	日本の仏教	1		2		
	社会心理学	1		2		
	日本のマイノリティ	1		2		
	認知心理学	1		2		
	南アジアのヒンドゥー教と仏教	1		2		
	睡眠と健康	1		2		
	日本の美学と芸術	1		2		
	社会科学分野	Issues in International Sociology (国際社会学)		1	選択必修	2
		Topics in History of Science (科学史の諸問題)		1		2
		Invitation to World Literature (世界文学への誘い)		1		2
		History and Historiography (歴史と歴史学)		1		2
		Knowledge of Anthropology (人類学知)		1		2
		Regional Geography of the Seto Inland Sea (瀬戸内の地域地理学)		1		2
		Tourism Studies (観光学)		1		2
		科学史の諸問題		1		2
		観光論		1		2
		ジェンダー学 I		1		2
		ジェンダー学 II		1		2
歴史と歴史学		1	2			
社会福祉論概論 I		1	2			
社会福祉論概論 II		1	2			
中国伝統文化論 I		1	2			
中国伝統文化論 II		1	2			
環境問題と市民運動		1	2			
国際社会学		1	2			
人類学知		1	2			
農村の社会・文化・自然		1	2			
自然科学分野	Climate Change (気候変動)	1	選択必修	2		
	Frontiers of Material Science (物質科学の最前線)	1		2		
	Fundamentals of Life Science (ライフサイエンスの世界)	1		2		
	Ecology and Society (エコロジーと社会)	1		2		
	Environmental Science in Catchment Areas (流域環境学)	1		2		
	Natural Histories and Sciences (自然誌と自然科学)	1		2		
	Earth Environmental Chemistry (地球環境化学)	1		2		
	環境とエコロジー	1		2		
	生化学概論 I	1		2		
	生化学概論 II	1		2		
	多様性生態学 I	1		2		
	多様性生態学 II	1		2		
	熱力学 I	1		2		
	熱力学 II	1		2		
	現代物理学入門	1		2		
有機分析化学 I	1	2				
有機分析化学 II	1	2				
国際共創コア科目	Global Environmental Issues from the Social and Scietiflc Perspectives I (社会と科学からみた地球環境問題 I)	1	必修	2		
	Peace and Coexistence I (平和共生論 I)	1		2		
	Social Statistics Analysis I (社会統計・データ分析 I)	1		2		
	Cross-cultural Negotiation I (異文化交渉学 I)	1		2		
	Global Environmental Issues from the Social and Scietiflc Perspectives II (社会と科学からみた地球環境問題 II)	1	選択必修	2		
	Peace and Coexistence II (平和共生論 II)	1		2		
	Cross-cultural Negotiation II (異文化交渉学 II)	1		2		
	Social Statistics Analysis II (社会統計・データ分析 II)	1		2		
	Special English Training for Studying Abroad (英語特別演習)	2		2		
	Academic Presentation I (アカデミックプレゼンテーション論)	1		3		
	Academic Presentation II (アカデミックプレゼンテーション演習)	1		3		
	Academic Writing I (アカデミックライティング I)	1		3		
	Academic Writing II (アカデミックライティング II)	1		3		
	Debate I (ディベート論)	1		2		
	Debate II (ディベート演習)	1		2		
	プレゼンテーション論	1		2		
	プレゼンテーション演習	1		2		

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修区分	配当年次	
文化と観光の視点	Anthropology of Globalization I (グローバル化の人類学 I)	1	必修	2	
	Contemporary Issues in International Tourism I (国際観光論 I)	1		2	
	Anthropology of Globalization II (グローバル化の人類学 II)	1		2	
	Contemporary Issues in International Tourism II (国際観光論 II)	1		2	
	Field Seminar in Contents Tourism I (コンテンツツーリズム演習 I)	1		2	
	Field Seminar in Contents Tourism II (コンテンツツーリズム演習 II)	1		2	
	Contemporary Philosophy I (哲学の諸問題 I)	1		2	
	Contemporary Philosophy II (哲学の諸問題 II)	1		2	
	Anthropology of Knowledge I (知識人類学 I)	1		2	
	Anthropology of Knowledge II (知識人類学 II)	1	選択必修	2	
	Anthropology of Migration I (移住の人類学 I)	1		2	
	Anthropology of Migration II (移住の人類学 II)	1		2	
	Japanese Popular Arts and Culture I (現代日本文化論 I)	1		2	
	Japanese Popular Arts and Culture II (現代日本文化論 II)	1		2	
	Japanese Religious Culture I (日本宗教文化 I)	1		2	
	Japanese Religious Culture II (日本宗教文化 II)	1		2	
	Japanese Tourism I (日本の観光 I)	1		2	
	Japanese Tourism II (日本の観光 II)	1		2	
	平和とコミュニケーションの視点	Language and Thought I (言語と思考 I)	1	必修	2
		Peace and Conflict Research I (平和と紛争研究 I)	1		2
		Language and Thought II (言語と思考 II)	1		2
		Peace and Conflict Research II (平和と紛争研究 II)	1		2
		Japanese Culture and Peace (日本文化と平和)	2		2
		Cultural Psychology I (文化心理学 I)	1		2
		Cultural Psychology II (文化心理学 II)	1		2
		Ethics, Killing and Violence I (戦争と平和の応用倫理学 I)	1	選択必修	2
		Ethics, Killing and Violence II (戦争と平和の応用倫理学 II)	1		2
		Middle East Politics and Islam I (中東政治とイスラーム I)	1		2
Middle East Politics and Islam II (中東政治とイスラーム II)		1		2	
Foreign Language Acquisition and Communication I (外国語習得とコミュニケーション I)		1		2	
Foreign Language Acquisition and Communication II (外国語習得とコミュニケーション II)	1		2		
環境と社会の視点	Environmental Economics and Policy I (環境経済と政策 I)	1	必修	2	
	Natural Disasters and Society I (自然災害と社会 I)	1		2	
	Environmental Economics and Policy II (環境経済と政策 II)	1		2	
	Natural Disasters and Society II (自然災害と社会 II)	1		2	
	Experiments in Environmental Economics I (実験環境経済学 I)	1		2	
	Experiments in Environmental Economics II (実験環境経済学 II)	1		2	
	Experimental Methods and Laboratory Work in Science for IGS I (IGS 自然科学実験法・同実験 I)	1		2	
	Experimental Methods and Laboratory Work in Science for IGS II (IGS 自然科学実験法・同実験 II)	1		2	
	Principles of Physics I (物理学の原理と基礎)	1	選択必修	2	
	Principles of Physics II (物理学の原理と基礎)	1		2	
	Studies on Japanese Companies and Organizations I (日本の企業と組織)	1		2	
	Studies on Japanese Companies and Organizations II (日本の企業と組織)	1		2	
	Physical Chemistry of Materials and Environmental Applications I (環境物理化学 I)	1		2	
	Physical Chemistry of Materials and Environmental Applications II (環境物理化学 II)	1		2	
Japanese Society and Gender Issues (日本社会とジェンダー)	2		2		
問題解決演習	4	必修	3		
グローバルインターンシップ科目	インターンシップオリエンテーション	1		3	
	グローバルインターンシップ	4	必修	3	
	インターンシップリフレクション	1		3	
	自然科学実験	1		1	
	自然科学実験法	1		1	
	英語発音法演習	2		2	
	英語上級聴取法演習	2		2	
	英語会話演習	2		2	
	ドイツ語中級総合演習 IA	2		2	
	ドイツ語中級総合演習 IB	2		2	
	ドイツ語中級会話演習 I	2		2	
	フランス語中級総合演習 IA	2		2	
	フランス語中級総合演習 IB	2		2	
	フランス語中級会話演習 I	2		2	
	中国語作文演習 I	2		2	
	中国語聴取法演習 I	2		2	
	中国語会話演習 I	2		2	
	時事ドイツ語演習	2		2	
	ドイツ語中級総合演習 II A	2		2	
	ドイツ語中級総合演習 II B	2		2	
	ドイツ語中級会話演習 II	2		2	
	フランス語中級総合演習 II A	2		2	
	フランス語中級総合演習 II B	2		2	
	フランス語中級会話演習 II	2		2	

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修区分	配当年次
自由 選択 科目	中国語作文演習Ⅱ	2	選択必修	2
	中国語聴取法演習Ⅱ	2		2
	中国語会話演習Ⅱ	2		2
	中国語読解法演習Ⅰ	2		2
	英語上級文章法演習	2		3
	ドイツ語上級読解法演習Ⅰ	2		3
	ドイツ語上級会話演習Ⅰ	2		3
	フランス語上級表現法演習	2		3
	フランス語上級会話演習Ⅰ	2		3
	科学と倫理	2		3
	対話論演習	2		3
	生命科学英語演習	2		3
	スポーツ健康科学英語演習	2		3
	ドイツ語文章法演習	2		3
	ドイツ語上級読解法演習Ⅱ	2		3
	ドイツ語上級会話演習Ⅱ	2		3
	フランス語上級会話演習Ⅱ	2		3
	中国語読解法演習Ⅱ	2		3
	物理学英語演習	2		3
	フランス語上級読解法演習	2		3
	I G S Study Abroad I	1		2～4
	I G S Study Abroad II	1		2～4
	I G S Study Abroad III	1		2～4
	I G S Study Abroad IV	1		2～4
	I G S Study Abroad V	1		2～4
	I G S Study Abroad VI	1		2～4
	I G S Study Abroad VII	1		2～4
	I G S Study Abroad VIII	1		2～4
	I G S Study Abroad IX	1		2～4
	I G S Study Abroad X	1		2～4
	I G S Study Abroad XI	1		2～4
	I G S Study Abroad XII	1		2～4
I G S Study Abroad XIII	1	2～4		
I G S Study Abroad XIV	1	2～4		
I G S Study Abroad XV	1	2～4		
I G S Study Abroad XVI	1	2～4		
特別研究	特別研究	6	必修	4

表3-2-2 平成31年度 総合科学部国際共創学科専門教育科目一覧表

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修区分	配当年次	
総合科学部 共通科目	World Englishes (世界の英語)	1	選択必修	2	
	Multiculturalism in Japan (日本のマイノリティ)	1		2	
	Japanese Buddhism (日本の仏教)	1		2	
	Cognitive Psychology (認知心理学)	1		2	
	Hinduism and Buddhism in South Asia (南アジアのヒンドゥー教と仏教)	1		2	
	Japanese Arts and Aesthetics (日本の美学と芸術)	1		2	
	New Media and Art (ニュー・メディアとアート)	1		2	
	Social Psychology (社会心理学)	1		2	
	意味の世界 I	1		2	
	意味の世界 II	1		2	
	ニュー・メディアとアート	1		2	
	認知と学習 I	1		2	
	認知と学習 II	1		2	
	身体運動科学概論 I	1		2	
	身体運動科学概論 II	1		2	
	日本の仏教	1		2	
	社会心理学	1		2	
	日本のマイノリティ	1		2	
	認知心理学	1		2	
	南アジアのヒンドゥー教と仏教	1		2	
	睡眠と健康	1	2		
	日本の美学と芸術	1	2		
	Issues in International Sociology (国際社会学)	1	選択必修	2	
	Topics in History of Science (科学史の諸問題)	1		2	
	Invitation to World Literature (世界文学への誘い)	1		2	
	History and Historiography (歴史と歴史学)	1		2	
	Knowledge of Anthropology (人類学知)	1		2	
	Regional Geography of the Seto Inland Sea (瀬戸内の地域地理学)	1		2	
	Tourism Studies (観光学)	1		2	
	科学史の諸問題	1		2	
観光論	1	2			
ジェンダー学 I	1	2			
ジェンダー学 II	1	2			
歴史と歴史学	1	2			
社会福祉概論 I	1	2			
社会福祉概論 II	1	2			
中国伝統文化論 I	1	2			
中国伝統文化論 II	1	2			
環境問題と市民運動	1	2			
国際社会学	1	2			
人類学知	1	2			
農村の社会・文化・自然	1	2			
Climate Change (気候変動)	1	選択必修	2		
Frontiers of Material Science (物質科学の最前線)	1		2		
Fundamentals of Life Science (ライフサイエンスの世界)	1		2		
Environment and Ecology (環境とエコロジー)	1		2		
Environmental Science in Catchment Areas (流域環境学)	1		2		
Natural Histories and Sciences (自然誌と自然科学)	1		2		
Earth Environmental Chemistry (地球環境化学)	1		2		
環境とエコロジー	1		2		
生化学概論 I	1		2		
生化学概論 II	1		2		
多様性生態学 I	1		2		
多様性生態学 II	1		2		
熱力学 I	1		2		
熱力学 II	1		2		
現代物理学入門	1		2		
有機分析化学 I	1		2		
有機分析化学 II	1		2		
地球環境化学	1		2		
国際共創 コア科目	Global Environmental Issues from the Social and Scientific Perspectives I (社会と科学からみた地球環境問題 I)		1	必修	2
	Peace and Coexistence I (平和共生論 I)		1		2
	Social Statistics Analysis I (社会統計・データ分析 I)	1	2		
	Cross-cultural Negotiation I (異文化交渉学 I)	1	2		
	Global Environmental Issues from the Social and Scientific Perspectives II (社会と科学からみた地球環境問題 II)	1	選択必修	2	
	Peace and Coexistence II (平和共生論 II)	1		2	
	Cross-cultural Negotiation II (異文化交渉学 II)	1		2	
	Social Statistics Analysis II (社会統計・データ分析 II)	1		2	
	Special English Training for Studying Abroad (英語特別演習)	2		2, 1	
	Academic Presentation I (アカデミックプレゼンテーション論)	1		3	
	Academic Presentation II (アカデミックプレゼンテーション演習)	1		3	
	Academic Writing I (アカデミックライティング I)	1		3	
	Academic Writing II (アカデミックライティング II)	1		3	
	Debate I (ディベート論)	1		2	
	Debate II (ディベート演習)	1		2	
	プレゼンテーション論	1		2	
	プレゼンテーション演習	1		2	
	IGS Special Topics AI (IGS特論 AI)	1		2	
	IGS Special Topics AII (IGS特論 AII)	1		2	
	IGS Special Topics BI (IGS特論 BI)	1		2	
IGS Special Topics BII (IGS特論 BII)	1	2			

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修区分	配当年次		
文化と観光の視点	Anthropology of Globalization I (グローバル化の人類学 I)	1	必修	2		
	Contemporary Issues in International Tourism I (国際観光論 I)	1		2		
	Anthropology of Globalization II (グローバル化の人類学 II)	1	選択必修	2		
	Contemporary Issues in International Tourism II (国際観光論 II)	1		2		
	Field Seminar in Contents Tourism I (コンテンツツーリズム演習 I)	1		2		
	Field Seminar in Contents Tourism II (コンテンツツーリズム演習 II)	1		2		
	Contemporary Philosophy I (哲学の諸問題 I)	1		2		
	Contemporary Philosophy II (哲学の諸問題 II)	1		2		
	Anthropology of Knowledge I (知識人類学 I)	1		2		
	Anthropology of Knowledge II (知識人類学 II)	1		2		
	Anthropology of Migration I (移住の人類学 I)	1		2		
	Anthropology of Migration II (移住の人類学 II)	1		2		
	Japanese Popular Arts and Culture I (現代日本文化論 I)	1		2		
	Japanese Popular Arts and Culture II (現代日本文化論 II)	1		2		
	Japanese Religious Culture I (日本宗教文化 I)	1		2		
	Japanese Religious Culture II (日本宗教文化 II)	1		2		
	Japanese Tourism I (日本の観光 I)	1		2		
	Japanese Tourism II (日本の観光 II)	1		2		
	平和とコミュニケーションの視点	Language and Thought I (言語と思考 I)		1	必修	2
		Peace and Conflict Research I (平和と紛争研究 I)		1		2
		Language and Thought II (言語と思考 II)	1	選択必修	2	
		Peace and Conflict Research II (平和と紛争研究 II)	1		2	
		The Japanese Culture and Peace (日本文化と平和)	2		2	
		Cultural Psychology I (文化心理学 I)	1		2	
		Cultural Psychology II (文化心理学 II)	1		2	
Ethics, Killing and Violence I (戦争と平和の応用倫理学 I)		1	2			
Ethics, Killing and Violence II (戦争と平和の応用倫理学 II)		1	2			
Middle East Politics and Islam I (中東政治とイスラーム I)		1	2			
Middle East Politics and Islam II (中東政治とイスラーム II)	1	2				
環境と社会の視点	Foreign Language Acquisition and Communication I (外国語習得とコミュニケーション I)	1	必修	2		
	Foreign Language Acquisition and Communication II (外国語習得とコミュニケーション II)	1		2		
	Environmental Economics and Policy I (環境経済と政策 I)	1	選択必修	2		
	Natural Disasters and Society I (自然災害と社会 I)	1		2		
	Environmental Economics and Policy II (環境経済と政策 II)	1		2		
	Natural Disasters and Society II (自然災害と社会 II)	1		2		
	Experiments in Environmental Economics I (実験環境経済学 I)	1		2		
	Experiments in Environmental Economics II (実験環境経済学 II)	1		2		
	Experimental Methods and Laboratory Work in Science for IGS I (IGS 自然科学実験法・同実験 I)	1		3		
	Experimental Methods and Laboratory Work in Science for IGS II (IGS 自然科学実験法・同実験 II)	1		3		
	Principles of Physics I (物理学の原理と基礎 I)	1		2		
	Principles of Physics II (物理学の原理と基礎 II)	1		2		
	Study on Japanese Companies and Social Entrepreneurship (日本企業・社会企業研究)	2		2		
Physical Chemistry of Materials and Environmental Applications I (環境物理化学 I)	1	2				
Physical Chemistry of Materials and Environmental Applications II (環境物理化学 II)	1	2				
Japanese Society and Gender Issues (日本社会とジェンダー)	2	2				
Family Diversity I (家族の多様性 I)	1	2				
Family Diversity II (家族の多様性 II)	1	2				
問題解決演習	問題解決演習	4	必修	3		
グローバルインターンシップ科目	インターンシップオリエンテーション	1	必修	2		
	グローバルインターンシップ	4		2		
	インターンシップリフレクション	1		3		
	自然科学実験	1		1		
	自然科学実験法	1		1		
	英語発音法演習	2		2		
	英語上級聴取法演習	2		2		
	英語会話演習	2		2		
	ドイツ語中級総合演習 IA	2		2		
	ドイツ語中級総合演習 IB	2		2		
	ドイツ語中級会話演習 I	2		2		
	フランス語中級総合演習 IA	2		2		
	フランス語中級総合演習 IB	2		2		
	フランス語中級会話演習 I	2		2		
	中国語作文演習 I	2		2		
	中国語聴取法演習 I	2		2		
	中国語会話演習 I	2		2		
	時事ドイツ語演習	2		3		
	ドイツ語中級総合演習 II A	2		2		
	ドイツ語中級総合演習 II B	2		2		
	ドイツ語中級会話演習 II	2		2		
	フランス語中級総合演習 II A	2		2		
	フランス語中級総合演習 II B	2		2		
	フランス語中級会話演習 II	2		2		

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修区分	配当年次
自由 選 択 科 目	中国語作文演習Ⅱ	2	選択必修	2
	中国語聴取法演習Ⅱ	2		2
	中国語会話演習Ⅱ	2		2
	中国語読解法演習Ⅰ	2		3
	英語上級文章法演習	2		3
	ドイツ語上級読解法演習Ⅰ	2		3
	ドイツ語上級会話演習Ⅰ	2		3
	フランス語上級表現法演習	2		3
	フランス語上級会話演習Ⅰ	2		3
	科学と倫理	2		2
	生命科学英語演習	2		3
	スポーツ健康科学英語演習	2		3
	ドイツ語文章法演習	2		3
	ドイツ語上級読解法演習Ⅱ	2		3
	ドイツ語上級会話演習Ⅱ	2		3
	フランス語上級会話演習Ⅱ	2		3
	中国語読解法演習Ⅱ	2		3
	物理科学英語演習	2		3
	フランス語上級読解法演習	2		3
	I G S Study Abroad I	1		2～4
	I G S Study Abroad II	1		2～4
	I G S Study Abroad III	1		2～4
	I G S Study Abroad IV	1		2～4
	I G S Study Abroad V	1		2～4
	I G S Study Abroad VI	1		2～4
	I G S Study Abroad VII	1		2～4
	I G S Study Abroad VIII	1		2～4
	I G S Study Abroad IX	1		2～4
	I G S Study Abroad X	1		2～4
	I G S Study Abroad XI	1		2～4
	I G S Study Abroad XII	1		2～4
I G S Study Abroad XIII	1	2～4		
I G S Study Abroad XIV	1	2～4		
I G S Study Abroad XV	1	2～4		
I G S Study Abroad XVI	1	2～4		
特別研究	特別研究	6	必修	4

表3-2-3 令和2年度 総合科学部国際共創学科専門教育科目一覧表

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修区分	配当年次	
総合科学部 共通科目	World Englishes (世界の英語)	1	選択必修	2	
	Multiculturalism in Japan (日本のマイノリティ)	1		2	
	Japanese Buddhism (日本の仏教)	1		2	
	Cognitive Psychology (認知心理学)	1		2	
	Hinduism and Buddhism in South Asia (南アジアのヒンドゥー教と仏教)	1		2	
	Japanese Arts and Aesthetics (日本の美学と芸術)	1		2	
	New Media and Art (ニュー・メディアとアート)	1		2	
	Social Psychology (社会心理学)	1		2	
	意味の世界 I	1		2	
	意味の世界 II	1		2	
	ニュー・メディアとアート	1		2	
	認知と学習 I	1		2	
	認知と学習 II	1		2	
	身体運動科学概論 I	1		2	
	身体運動科学概論 II	1		2	
	日本の仏教	1		2	
	社会心理学	1		2	
	日本のマイノリティ	1		2	
	認知心理学	1		2	
	南アジアのヒンドゥー教と仏教	1		2	
	睡眠と健康	1		2	
	日本の美学と芸術	1		2	
	Issues in International Sociology (国際社会学)	1		選択必修	2
	Topics in History of Science (科学史の諸問題)	1			2
	Invitation to World Literature (世界文学への誘い)	1			2
	History and Historiography (歴史と歴史学)	1			2
	Knowledge of Anthropology (人類学知)	1			2
	Regional Geography of the Seto Inland Sea (瀬戸内の地域地理学)	1			2
	Tourism Studies (観光学)	1			2
科学史の諸問題	1	2			
観光論	1	2			
ジェンダー学 I	1	2			
ジェンダー学 II	1	2			
歴史と歴史学	1	2			
社会福祉概論 I	1	2			
社会福祉概論 II	1	2			
中国伝統文化論 I	1	2			
中国伝統文化論 II	1	2			
環境問題と市民運動	1	2			
国際社会学	1	2			
人類学知	1	2			
農村の社会・文化・自然	1	2			
Climate Change (気候変動)	1	選択必修	2		
Frontiers of Material Science (物質科学の最前線)	1		2		
Fundamentals of Life Science (ライフサイエンスの世界)	1		2		
Environment and Ecology (環境とエコロジー)	1		2		
Environmental Science in Catchment Areas (流域環境学)	1		2		
Natural Histories and Sciences (自然誌と自然科学)	1		2		
Earth Environmental Chemistry (地球環境化学)	1		2		
環境とエコロジー	1		2		
生化学概論 I	1		2		
生化学概論 II	1		2		
多様性生態学 I	1		2		
多様性生態学 II	1		2		
熱力学 I	1		2		
熱力学 II	1		2		
現代物理学入門	1		2		
有機分析化学 I	1		2		
有機分析化学 II	1		2		
地球環境化学	1		2		
国際共創 コア科目	Global Environmental Issues from the Social and Scientific Perspectives I (社会と科学からみた地球環境問題 I)		1	必修	2
	Peace and Coexistence I (平和共生論 I)		1		2
	Social Statistics Analysis I (社会統計・データ分析 I)		1		2
	Cross-cultural Negotiation I (異文化交渉学 I)		1	2	
	Global Environmental Issues from the Social and Scientific Perspectives II (社会と科学からみた地球環境問題 II)		1	選択必修	2
	Peace and Coexistence II (平和共生論 II)		1		2
	Cross-cultural Negotiation II (異文化交渉学 II)		1		2
	Social Statistics Analysis II (社会統計・データ分析 II)		1		2
	Special English Training for Studying Abroad (英語特別演習)		2		2
	Academic Presentation I (アカデミックプレゼンテーション論)		1		3
	Academic Presentation II (アカデミックプレゼンテーション演習)		1		3
	Academic Writing I (アカデミックライティング I)	1	3		
	Academic Writing II (アカデミックライティング II)	1	3		
	Debate I (ディベート論)	1	2		
	Debate II (ディベート演習)	1	2		
	プレゼンテーション論	1	2		
	プレゼンテーション演習	1	2		
	IGS Special Topics AI (IGS特論 AI)	1	2		
	IGS Special Topics AII (IGS特論 AII)	1	2		
	IGS Special Topics BI (IGS特論 BI)	1	2		
	IGS Special Topics BII (IGS特論 BII)	1	2		

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修区分	配当年次		
文化と観光の視点	Anthropology of Globalization I (グローバリゼーションの人類学 I)	1	必修	2		
	Contemporary Issues in International Tourism I (国際観光論 I)	1		2		
	Anthropology of Globalization II (グローバリゼーションの人類学 II)	1	選択必修	2		
	Contemporary Issues in International Tourism II (国際観光論 II)	1		2		
	Field Seminar in Contents Tourism I (コンテンツツーリズム演習 I)	1		2		
	Field Seminar in Contents Tourism II (コンテンツツーリズム演習 II)	1		2		
	Contemporary Philosophy I (哲学の諸問題 I)	1		2		
	Contemporary Philosophy II (哲学の諸問題 II)	1		2		
	Anthropology of Knowledge I (知識人類学 I)	1		2		
	Anthropology of Knowledge II (知識人類学 II)	1		2		
	Anthropology of Migration I (移住の人類学 I)	1		2		
	Anthropology of Migration II (移住の人類学 II)	1		2		
	Japanese Popular Arts and Culture I (現代日本文化論 I)	1		2		
	Japanese Popular Arts and Culture II (現代日本文化論 II)	1		2		
	Japanese Religious Culture I (日本宗教文化 I)	1		2		
	Japanese Religious Culture II (日本宗教文化 II)	1		2		
	Japanese Tourism I (日本の観光 I)	1		2		
	Japanese Tourism II (日本の観光 II)	1		2		
	平和とコミュニケーションの視点	Language and Thought I (言語と思考 I)		1	必修	2
		Peace and Conflict Research I (平和と紛争研究 I)		1		2
		Language and Thought II (言語と思考 II)	1	選択必修	2	
		Peace and Conflict Research II (平和と紛争研究 II)	1		2	
		The Japanese Culture and Peace (日本文化と平和)	2		2	
		Cultural Psychology I (文化心理学 I)	1		2	
		Cultural Psychology II (文化心理学 II)	1		2	
Ethics, Killing and Violence I (戦争と平和の応用倫理学 I)		1	2			
Ethics, Killing and Violence II (戦争と平和の応用倫理学 II)		1	2			
Middle East Politics and Islam I (中東政治とイスラーム I)		1	2			
Middle East Politics and Islam II (中東政治とイスラーム II)	1	2				
環境と社会の視点	Foreign Language Acquisition and Communication I (外国語習得とコミュニケーション I)	1	必修	2		
	Foreign Language Acquisition and Communication II (外国語習得とコミュニケーション II)	1		2		
	Environmental Economics and Policy I (環境経済と政策 I)	1	選択必修	2		
	Natural Disasters and Society I (自然災害と社会 I)	1		2		
	Environmental Economics and Policy II (環境経済と政策 II)	1		2		
	Natural Disasters and Society II (自然災害と社会 II)	1		2		
	Experiments in Environmental Economics I (実験環境経済学 I)	1		2		
	Experiments in Environmental Economics II (実験環境経済学 II)	1		2		
	Experimental Methods and Laboratory Work in Science for IGS I (IGS 自然科学実験法・同実験 I)	1		3		
	Experimental Methods and Laboratory Work in Science for IGS II (IGS 自然科学実験法・同実験 II)	1		3		
	Principles of Physics I (物理学の原理と基礎 I)	1		2		
	Principles of Physics II (物理学の原理と基礎 II)	1		2		
	Study on Japanese Companies and Social Entrepreneurship (日本企業・社会企業研究)	2		2		
	Physical Chemistry of Materials and Environmental Applications I (環境物理化学 I)	1		2		
	Physical Chemistry of Materials and Environmental Applications II (環境物理化学 II)	1		2		
Japanese Society and Gender Issues (日本社会とジェンダー)	2	2				
Family Diversity I (家族の多様性 I)	1	2				
Family Diversity II (家族の多様性 II)	1	2				
Biogeochemistry I (生物地球化学 I)	1	2				
Biogeochemistry II (生物地球化学 II)	1	2				
Inorganic and Organic Chemistry I (無機化学および有機化学 I)	1	2				
Inorganic and Organic Chemistry II (無機化学および有機化学 II)	1	2				
問題解決演習	問題解決演習	4	必修	3		
グローバルインターンシップ科目	インターンシップオリエンテーション	1	必修	2		
	グローバルインターンシップ	4		2		
	インターンシップリフレクション	1		3		
	自然科学実験	1		1		
	自然科学実験法	1		1		
	英語発音法演習	2		2		
	英語上級聴取法演習	2		2		
	英語会話演習	2		2		
	ドイツ語中級総合演習 IA	2		2		
	ドイツ語中級総合演習 IB	2		2		
	ドイツ語中級会話演習 I	2		2		
	フランス語中級総合演習 IA	2		2		
	フランス語中級総合演習 IB	2		2		
	フランス語中級会話演習 I	2		2		
	中国語中級作文演習	2		2		
	中国語中級聴取法演習	2		2		
	中国語中級会話演習	2		2		
	時事ドイツ語演習	2		3		
	ドイツ語中級総合演習 II A	2		2		
	ドイツ語中級総合演習 II B	2		2		
	ドイツ語中級会話演習 II	2		2		
	フランス語中級総合演習 II A	2		2		
	フランス語中級総合演習 II B	2		2		
	フランス語中級会話演習 II	2		2		

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修区分	配当年次
自由選択科目	中国語上級作文演習	2	選択必修	3
	中国語上級聴取法演習	2		3
	中国語上級会話演習	2		3
	中国語中級読解法演習	2		2
	英語上級文章法演習	2		3
	ドイツ語上級読解法演習I	2		3
	ドイツ語上級会話演習	2		3
	フランス語上級表現法演習	2		3
	フランス語上級会話演習I	2		3
	科学と倫理	2		2
	生命科学英語演習	2		3
	スポーツ健康科学英語演習	2		3
	ドイツ語文章法演習	2		3
	ドイツ語上級会話演習II	2		3
	フランス語上級会話演習II	2		3
	中国語上級読解法演習	2		3
	物理学英語演習	2		3
	フランス語上級読解法演習	2		3
	I G S Study Abroad I	1		2~4
	I G S Study Abroad II	1		2~4
	I G S Study Abroad III	1		2~4
	I G S Study Abroad IV	1		2~4
	I G S Study Abroad V	1		2~4
	I G S Study Abroad VI	1		2~4
	I G S Study Abroad VII	1		2~4
	I G S Study Abroad VIII	1		2~4
	I G S Study Abroad IX	1		2~4
	I G S Study Abroad X	1		2~4
	I G S Study Abroad XI	1		2~4
	I G S Study Abroad XII	1		2~4
	I G S Study Abroad XIII	1		2~4
I G S Study Abroad XIV	1	2~4		
I G S Study Abroad XV	1	2~4		
I G S Study Abroad XVI	1	2~4		
Overseas Seminar for Specialized Topics (海外専門演習)	1	1~4		
特別研究	特別研究	6	必修	4

表3-2-4 令和3年度 総合科学部国際共創学科専門教育科目一覧表

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修区分	配当年次		
総合科学部共通科目	人間科学分野	World Englishes (世界の英語)	1	選択必修	2	
		Multiculturalism in Japan (日本のマイノリティ)	1		2	
		Japanese Buddhism (日本の仏教)	1		2	
		Cognitive Psychology (認知心理学)	1		2	
		Hinduism and Buddhism in South Asia (南アジアのヒンドゥー教と仏教)	1		2	
		Japanese Arts and Aesthetics (日本の美学と芸術)	1		2	
		New Media and Art (ニュー・メディアとアート)	1		2	
		Social Psychology (社会心理学)	1		2	
		意味の世界 I	1		2	
		意味の世界 II	1		2	
		ニュー・メディアとアート	1		2	
		認知と学習 I	1		2	
		認知と学習 II	1		2	
		身体運動科学概論 I	1		2	
		身体運動科学概論 II	1		2	
	日本の仏教	1	2			
	社会心理学	1	2			
	日本のマイノリティ	1	2			
	認知心理学	1	2			
	南アジアのヒンドゥー教と仏教	1	2			
	睡眠と健康	1	2			
	日本の美学と芸術	1	2			
	社会科学分野	Issues in International Sociology (国際社会学)	1		選択必修	2
		Topics in History of Science (科学史の諸問題)	1			2
		Invitation to World Literature (世界文学への誘い)	1			2
		History and Historiography (歴史と歴史学)	1			2
		Knowledge of Anthropology (人類学知)	1			2
		Regional Geography of the Seto Inland Sea (瀬戸内の地域地理学)	1			2
		Tourism Studies (観光学)	1			2
		Rural Revitalization (地域活性化)	1			2
科学史の諸問題		1	2			
観光論		1	2			
ジェンダー学 I		1	2			
ジェンダー学 II		1	2			
歴史と歴史学		1	2			
社会福祉概論 I		1	2			
社会福祉概論 II		1	2			
中国伝統文化論 I	1	2				
中国伝統文化論 II	1	2				
環境問題と市民運動	1	2				
国際社会学	1	2				
人類学知	1	2				
農村の社会・文化・自然	1	2				
自然科学分野	Climate Change (気候変動)	1	選択必修	2		
	Frontiers of Material Science (物質科学の最前線)	1		2		
	Fundamentals of Life Science (ライフサイエンスの世界)	1		2		
	Environment and Ecology (環境とエコロジー)	1		2		
	Environmental Science in Catchment Areas (流域環境学)	1		2		
	Natural Histories and Sciences (自然誌と自然科学)	1		2		
	Earth Environmental Chemistry (地球環境化学)	1		2		
	環境とエコロジー	1		2		
	生化学概論 I	1		2		
	生化学概論 II	1		2		
	多様性生態学 I	1		2		
	多様性生態学 II	1		2		
	熱力学 I	1		2		
	熱力学 II	1		2		
	現代物理学入門	1		2		
有機分析化学 I	1	2				
有機分析化学 II	1	2				
地球環境化学	1	2				
国際共創コア科目	Global Environmental Issues from the Social and Scientific Perspectives I (社会と科学からみた地球環境問題 I)	1		必修	2	
	Peace and Coexistence I (平和共生論 I)	1			2	
	Social Statistics Analysis I (社会統計・データ分析 I)	1			2	
	Cross-cultural Negotiation I (異文化交渉学 I)	1			2	
	Global Environmental Issues from the Social and Scientific Perspectives II (社会と科学からみた地球環境問題 II)	1		選択必修	2	
	Peace and Coexistence II (平和共生論 II)	1			2	
	Cross-cultural Negotiation II (異文化交渉学 II)	1			2	
	Social Statistics Analysis II (社会統計・データ分析 II)	1			2	
	Special English Training for Studying Abroad (英語特別演習)	2			1	
	Academic Presentation I (アカデミックプレゼンテーション論)	1			3	
	Academic Presentation II (アカデミックプレゼンテーション演習)	1			3	
	Academic Writing I (アカデミックライティング I)	1			3	
	Academic Writing II (アカデミックライティング II)	1	3			
	Debate I (ディベート論)	1	2			
	Debate II (ディベート演習)	1	2			
	プレゼンテーション論	1	2			
	プレゼンテーション演習	1	2			
	IGS Special Topics A1 (IGS特論 A1)	1	2			
	IGS Special Topics A2 (IGS特論 A2)	1	2			
	IGS Special Topics B1 (IGS特論 B1)	1	2			
IGS Special Topics B2 (IGS特論 B2)	1	2				

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修区分	配当年次			
国際共創科目	文化と観光の視点	Anthropology of Globalization I (グローバリゼーションの人類学I)	1	必修	2		
		Contemporary Issues in International Tourism I (国際観光論I)	1		2		
		Anthropology of Globalization II (グローバリゼーションの人類学II)	1		2		
		Contemporary Issues in International Tourism II (国際観光論II)	1		2		
		Field Seminar in Contents Tourism I (コンテンツツーリズム演習I)	1		2		
		Field Seminar in Contents Tourism II (コンテンツツーリズム演習II)	1		2		
		Contemporary Philosophy I (哲学の諸問題I)	1		2		
		Contemporary Philosophy II (哲学の諸問題II)	1		2		
		Anthropology of Knowledge I (知識人類学I)	1		2		
		Anthropology of Knowledge II (知識人類学II)	1		2		
		Anthropology of Migration I (移住の人類学I)	1		2		
		Anthropology of Migration II (移住の人類学II)	1		2		
		Japanese Popular Arts and Culture I (現代日本文化論I)	1		2		
		Japanese Popular Arts and Culture II (現代日本文化論II)	1		2		
		Japanese Religious Culture I (日本宗教文化I)	1		2		
		Japanese Religious Culture II (日本宗教文化II)	1		2		
		Japanese Tourism I (日本の観光I)	1		2		
		Japanese Tourism II (日本の観光II)	1		2		
	平和とコミュニケーションの視点	Language and Thought I (言語と思考I)	1	必修	2		
		Peace and Conflict Research I (平和と紛争研究I)	1		2		
		Language and Thought II (言語と思考II)	1		2		
		Peace and Conflict Research II (平和と紛争研究II)	1		2		
		The Japanese Culture and Peace (日本文化と平和)	2		2		
		Cultural Psychology I (文化心理学I)	1		2		
		Cultural Psychology II (文化心理学II)	1		2		
		Ethics, Killing and Violence I (戦争と平和の応用倫理学 I)	1		2		
		Ethics, Killing and Violence II (戦争と平和の応用倫理学 II)	1		2		
		Middle East Politics and Islam I (中東政治とイスラームI)	1		2		
		Middle East Politics and Islam II (中東政治とイスラームII)	1		2		
		外国語習得とコミュニケーションの視点	Foreign Language Acquisition and Communication I (外国語習得とコミュニケーションI)		1	選択必修	2
			Foreign Language Acquisition and Communication II (外国語習得とコミュニケーションII)		1		2
			Psycholinguistics I (心理言語学 I)		1		2
	Psycholinguistics II (心理言語学 II)		1	2			
	Conflict Resolution I (紛争解決論 I)		1	2			
	Conflict Resolution II (紛争解決論 II)		1	2			
	環境と社会の視点		Environmental Economics and Policy I (環境経済と政策I)	1	必修		2
			Natural Disasters and Society I (自然災害と社会I)	1			2
		Environmental Economics and Policy II (環境経済と政策II)	1	2			
		Natural Disasters and Society II (自然災害と社会II)	1	2			
		Experiments in Environmental Economics I (実験環境経済学I)	1	2			
		Experiments in Environmental Economics II (実験環境経済学II)	1	2			
		Experimental Methods and Laboratory Work in Science for IGS I (IGS 自然科学実験法・同実験 I)	1	3			
Experimental Methods and Laboratory Work in Science for IGS II (IGS 自然科学実験法・同実験 II)		1	3				
Principles of Physics I (物理学の原理と基礎I)		1	2				
Principles of Physics II (物理学の原理と基礎II)		1	2				
Study on Japanese Companies and Social Entrepreneurship (日本企業・社会企業研究)		2	2				
Physical Chemistry of Materials and Environmental Applications I (環境物理化学I)		1	選択必修	2			
Physical Chemistry of Materials and Environmental Applications II (環境物理化学II)		1		2			
Japanese Society and Gender Issues (日本社会とジェンダー)		2		2			
Family Diversity I (家族の多様性 I)		1		2			
Family Diversity II (家族の多様性 II)		1		2			
Biogeochemistry I (生物地球化学 I)		1		2			
Biogeochemistry II (生物地球化学 II)		1		2			
Inorganic and Organic Chemistry I (無機化学および有機化学 I)	1	2					
Inorganic and Organic Chemistry II (無機化学および有機化学 II)	1	2					
Inorganic Chemistry I (無機化学 I)	1	2					
Inorganic Chemistry II (無機化学 II)	1	2					
問題解決演習	問題解決演習	4	必修	3			
グローバルインターンシップ科目	インターンシップオリエンテーション	1	必修	2			
	グローバルインターンシップ	4		2			
	インターンシップリフレクション	1		3			
	自然科学実験	1		1			
	自然科学実験法	1		1			
	英語発音法演習	2		2			
	英語上級聴取法演習	2		2			
	英語会話演習	2		2			
	ドイツ語中級総合演習I-A	2		2			
	ドイツ語中級総合演習I-B・ドイツ語中級聴取法演習I	2		2			
	ドイツ語中級会話演習I	2		2			
	フランス語中級総合演習I-A	2		2			
	フランス語中級総合演習I-B	2		2			
	フランス語中級会話演習I	2		2			
	中国語中級作文演習	2		2			
	中国語中級聴取法演習	2		2			
	中国語中級会話演習	2		2			
	時事ドイツ語演習	2		3			
	ドイツ語中級総合演習II-A	2		2			
	ドイツ語中級総合演習II-B・ドイツ語中級聴取法演習II	2		2			
	ドイツ語中級会話演習II	2		2			

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修区分	配当年次		
自由 選択 科目	フランス語中級総合演習ⅡA	2	選択必修	2		
	フランス語中級総合演習ⅡB	2		2		
	フランス語中級会話演習Ⅱ	2		2		
	中国語上級作文演習	2		3		
	中国語上級聴取法演習	2		3		
	中国語上級会話演習	2		3		
	中国語中級読解法演習	2		2		
	英語上級文章法演習	2		3		
	ドイツ語上級読解法演習	2		3		
	ドイツ語上級会話演習Ⅰ	2		3		
	フランス語上級表現法演習	2		3		
	フランス語上級会話演習Ⅰ	2		3		
	科学と倫理	2		2		
	生命科学英語演習	2		3		
	スポーツ健康科学英語演習	2		3		
	ドイツ語文章法演習	2		3		
	ドイツ語上級会話演習Ⅱ	2		3		
	フランス語上級会話演習Ⅱ	2		3		
	中国語上級読解法演習	2		3		
	物理科学英語演習	2		3		
	フランス語上級読解法演習	2		3		
	I G S Study Abroad Ⅰ	1		2~4		
	I G S Study Abroad Ⅱ	1		2~4		
	I G S Study Abroad Ⅲ	1		2~4		
	I G S Study Abroad Ⅳ	1		2~4		
	I G S Study Abroad Ⅴ	1		2~4		
	I G S Study Abroad Ⅵ	1		2~4		
	I G S Study Abroad Ⅶ	1		2~4		
	I G S Study Abroad Ⅷ	1		2~4		
	I G S Study Abroad Ⅸ	1		2~4		
	I G S Study Abroad X	1		2~4		
	I G S Study Abroad XI	1		2~4		
	I G S Study Abroad XII	1		2~4		
	I G S Study Abroad XIII	1		2~4		
	I G S Study Abroad XIV	1		2~4		
	I G S Study Abroad XV	1		2~4		
	I G S Study Abroad XVI	1		2~4		
	Overseas Seminar for Specialized Topics (海外専門演習)	1		1~4		
	特別研究	特別研究		6	必修	4

表 3-2-5 採択された学生独自プロジェクト一覧(令和 2～3 年度)

年度	プロジェクト名	支援 金額 (万円)	プロジェクトメンバー			
			学部生	博士課程 前期	博士課程 後期	合計
令和 2 年度	ラットの交差・反発知覚における感覚問位相リセットの検討	30	0	1	1	2
	Exploring the potential relationships between English language learner's vocabulary knowledge and IELTS writing proficiency	30	0	1	2	3
	イゴロット族・カンカナエイ語の調査	4.8	3	0	0	3
	広島大学総合科学部公式 Open Lab.の企画・運営に関するプロジェクト	29.8	5	0	0	5
	海岸清掃プロジェクトによる海岸ゴミの定量および教育効果に関する研究	22.1	5	0	0	5
令和 3 年度	暑熱下におけるマスク着用が持久性運動時の生理及び心理的指標に与える影響	30	0	2	1	3
	サイエンスイベントプロジェクト	19	0	2	0	2
	学生の学生による学生のための人工知能 (AI) 学習教材の開発	9.7617	4	0	1	6
	SOGIESC の観点からジェンダー規範を問うボードゲームの作成ー広大生のジェンダー意識調査を手掛かりにー	13.9	3	0	0	3

表 3-2-6 平成 30 年度 学士課程教育における自己点検とその改善に関する年次報告書

自己点検・評価 単位	昨年度の改善 計画による改 善状況	基 準 1-1	基 準 1-2	基 準 2-1	基 準 2-2	基 準 3-1	基 準 3-2	基 準 3-3	基 準 4-1	基 準 4-2	基 準 5-1	基 準 5-2	基 準 6
学部				5					5		5	5	5
総合科学 プログラム		5	5		5	5	5	5		5			
国際共創 プログラム		5	5		—	—	—	—		5			

表 3-2-7 令和元年度 学士課程教育における自己点検とその改善に関する年次報告書

自己点検・評価 単位	昨年度の改善 計画による改 善状況	基 準 1-1	基 準 1-2	基 準 2-1	基 準 2-2	基 準 3-1	基 準 3-2	基 準 3-3	基 準 4-1	基 準 4-2	基 準 5-1	基 準 5-2	基 準 6
学部				5					5		5	5	5
総合科学 プログラム		5	5		5	5	5	5		5			
国際共創 プログラム		5	5		—	—	—	—		5			

表 3-2-8 令和 2 年度 学士課程教育における自己点検とその改善に関する年次報告書

自己点検・評価 単位	分析 項目 1-1-1	分析 項目 2-1-1	分析 項目 2-1-2	分析 項目 2-2-1	分析 項目 2-2-2	分析 項目 3-1-1	分析 項目 4-1-1	分析 項目 4-2-1	分析 項目 4-2-2	分析 項目 5-1-1	分析 項目 5-1-2	分析 項目 5-2-1
学部	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	—	⑤	—	—	⑤
総合科学 プログラム	—	—	—	—	—	—	—	⑤	—	⑤	⑤	—
国際共創 プログラム	—	—	—	—	—	—	—	⑤	—	⑤	⑤	—

自己点検・評価 単位	分析 項目 6-1-1	分析 項目 6-2-1	分析 項目 6-3-1	分析 項目 6-3-2	分析 項目 6-3-3	分析 項目 6-4-1	分析 項目 6-4-2	分析 項目 6-4-3	分析 項目 6-5-1	分析 項目 6-6-1	分析 項目 6-6-2	分析 項目 6-6-3
学部	⑤	—	⑤	⑤	—	⑤	⑤	④	—	—	—	—
総合科学 プログラム	—	⑤	—	—	⑤	—	—	—	⑤	⑤	⑤	⑤
国際共創 プログラム	—	⑤	—	—	⑤	—	—	—	—	—	—	—

自己点検・評価 単位	分析 項目 6-6-4	分析 項目 6-6-5	分析 項目 7-1-1	分析 項目 7-1-2	分析 項目 8-1-1	分析 項目 8-1-2
学部	④	—	⑤	—	⑤	⑤
総合科学 プログラム	—	⑤	—	⑤	—	—
国際共創 プログラム	—	—	—	⑤	—	—

表 3-2-9 令和3年度 学士課程教育における自己点検とその改善に関する年次報告書

自己点検・評価 単位	分析 項目 1-1-1	分析 項目 2-1-1	分析 項目 2-1-2	分析 項目 2-2-1	分析 項目 2-2-2	分析 項目 3-1-1	分析 項目 4-1-1	分析 項目 4-2-1	分析 項目 4-2-2	分析 項目 5-1-1	分析 項目 5-1-2	分析 項目 5-2-1
学部	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	—	⑤	—	—	⑤
総合科学 プログラム	—	—	—	—	—	—	—	⑤	—	⑤	⑤	—
国際共創 プログラム	—	—	—	—	—	—	—	⑤	—	⑤	⑤	—

自己点検・評価 単位	分析 項目 6-1-1	分析 項目 6-2-1	分析 項目 6-3-1	分析 項目 6-3-2	分析 項目 6-3-3	分析 項目 6-4-1	分析 項目 6-4-2	分析 項目 6-4-3	分析 項目 6-5-1	分析 項目 6-6-1	分析 項目 6-6-2	分析 項目 6-6-3
学部	⑤	—	⑤	⑤	—	⑤	⑤	④	—	—	—	⑤
総合科学 プログラム	—	⑤	—	—	⑤	—	—	—	⑤	⑤	⑤	—
国際共創 プログラム	—	⑤	—	—	⑤	—	—	—	⑤	⑤	⑤	—

自己点検・評価 単位	分析 項目 6-6-4	分析 項目 6-6-5	分析 項目 7-1-1	分析 項目 7-1-2	分析 項目 8-1-1	分析 項目 8-1-2
学部	④	—	⑤	—	⑤	⑤
総合科学 プログラム	—	⑤	—	⑤	—	—
国際共創 プログラム	—	⑤	—	⑤	—	—

(⑤十分に適合する ④適合する ③やや適合する ②余り適合しない ①適合しない)

第3節 学生支援（留学・生活・就職など）

1. 現状の説明

過去4年間の留学状況は、表3-3-1のとおりである。

表3-3-1 海外留学派遣状況（平成30～令和3年度）

年度	短期交換留学 プログラム	語学留学・研 修プログラム	私費留学	計
平成30年度	0	16	0	16
令和元年度	27	17	0	44
令和2年度	11	5	0	16
令和3年度	22	1	0	23

国際共創学科では、原則として1学期間の留学を必修としているため、長期留学経験がある人材をUEAとして雇用し、学科独自で複数回の留学ガイダンスを実施し、学生の個別相談を行うなど、留学に関するきめ細やかな支援を行っている。

また、留学費用の負担軽減のため、学科独自で日本学生支援機構（JASSO）の海外留学支援制度による奨学金を獲得しているほか、広島大学基金による独自の海外留学奨学金制度を設けている。

学生生活支援について、本学部では、チューター制度を整備し、生活・学習全般について支援を行っている。年度当初に学年別ガイダンスを実施し、学習・生活面について指導を行っている。国際共創学科では、これに加えて6～7月に留学ガイダンスを、2月に1年終了時ガイダンスを実施している。さらに、各チューターには、前・後期の年2回、学生指導及び面談の結果を「学生指導記録」として提出することが義務付けられている。「eポートフォリオ」（総合科学部チューター面談システム）を導入し、「学生指導記録」の電子化を行っている。「学生指導記録」を電子化することで、関係教員間で緊密な情報の共有を図ることが可能となっている。成績、出席状況や面談結果などから、問題を抱える学生については、保健管理センター、アクセシビリティセンター等とも連携を図ってきめ細かな対応を行っている。

広島大学では、平成23年度から新入生・在学生に対して規範教育を実施している。

国際共創学科の学生の交流スペースとしてIGS学生交流室を整備しており、学生は自由に利用できる。IGS学生交流室の一角に相談コーナーがあり、UEAが昼と夕方に1時間ずつオフィスアワーを設けて常駐している。オフィスアワーには、学生はいつでも予約なしにUEAに相談が出来る。オフィスアワー以外においても、事前予約制で相談に応じている。相談内容はUEAが主に担当する留学やインターンシップだけではなく、日常生活のちょっとした不安や悩みを含め、何でも受け付けている。このことが何らかの問題を

抱えた学生の早期発見につながり、学内の専門部署の紹介や、チューター等の関係教員との情報共有など、学生に寄り添った対応が可能となっている。

国際共創学科は外国人留学生に日本語能力の有無を問うておらず、はじめて海外生活を送る留学生も多い。このため、新入留学生に対しては大学の留学生サポーター制度を活用して、入学直後に国際共創学科の上級生が様々な手続き支援を行っている。また、UEAは自身も留学経験のある英語が堪能な人材であり、日本語能力が十分でない学生でも、英語で相談できる体制となっている。

就職支援については、2,3年次生向けの学年別ガイダンスでは、就職情報会社や外部講師による就職・キャリアガイダンスを行っている。さらに、本学部独自の就職・キャリアガイダンスを年12回ほど開催し、就職情報関連企業による就職情報の提供、就職活動支援に関する講座、外部講師によるビジネスマナー講座、面接試験対策講座、就職内定者による就職活動体験報告会などを実施している（表3-3-2）。この就職・キャリアガイダンスは、学生が参加しやすいように、専門授業が少ない水曜日の7,8時限に開催している。

表3-3-2 就職・キャリアガイダンス実施状況

平成30年度	4月6日	キャリアガイダンス（リクルートキャリア）
	5月22日	インターンシップ基礎講座（リクルートキャリア）
	6月13日	合同説明会直前講座（リクルートキャリア）
	7月4日	インターンシップ選考対策講座（マイナビ）
	10月3日	就活後期スタート講座（マイナビ）
	10月17日	SPI準備講座（リクルートキャリア）
	11月7日	就職筆記試験対策講座（マイナビ）
	11月14日	第1回就職内定者による就職活動体験報告会
	11月21日	第2回就職内定者による就職活動体験報告会
	12月5日	就職面接試験対策/グループディスカッション（マイナビ）
	12月12日	エントリーシート対策講座（リクルートキャリア）
令和元年度	2月8日	本格スタート講座（マイナビ）
	4月5日	キャリアガイダンス（マイナビ）
	5月15日	インターンシップ基礎講座（リクルートキャリア）
	6月5日	インターンシップ選考対策講座（マイナビ）
	6月12日	SPI準備講座（リクルートキャリア）
	10月2日	就活後期スタート講座（マイナビ）
	10月9日	秋冬インターンシップ活用講座（リクルートキャリア）
	11月6日	就職筆記試験対策講座（マイナビ）
11月20日	第1回就職内定者による就職活動体験報告会	
11月27日	第2回就職内定者による就職活動体験報告会	

	12月4日	就職面接試験対策/グループディスカッション (マイナビ)
	12月11日	エントリーシート対策講座 (リクルートキャリア)
	2月8日	本格スタート講座 (マイナビ)
令和2年度	5月	『インターンシップはどのような？先輩の就職活動と最近の企業動向』 (6月末まで録画配信) (リクルートキャリア)
		7月1日『夏の就活準備&自己PR文章作成講座』 (LIVE配信) (マイナビ)
	6月	『適性検査SPI受検会』 (7月末まで録画配信) (リクルートキャリア)
	10月7日	『就活後期スタート講座』 (マイナビ)
	10月14日	『エントリーシート・履歴書対策講座』 (リクルートキャリア)
	10月28日	『筆記WEBテスト対策講座』 (マイナビ)
	11月4日	第1回就職内定者による就職活動体験報告会
	11月18日	第2回就職内定者による就職活動体験報告会
	12月9日	『グループディスカッション対策講座』 (マイナビ)
	2月8日	『直前選考対策講座』
令和3年度	4月7日	キャリアガイダンス (マイナビ)
	4月21日	インターンシップ基礎講座 (リクルート)
	5月19日	インターンシップ選考対策講座 (マイナビ)
	5月26日	適性検査SPI受検会 (リクルート)
	10月6日	就活後期スタート講座 (マイナビ)
	10月13日	エントリーシート・履歴書対策講座 (リクルート)
	10月20日	自己分析講座 (リクルート)
	10月27日	筆記WEBテスト対策講座 (マイナビ)
	11月17日	第1回就職内定者による就職活動体験報告会
	12月1日	第2回就職内定者による就職活動体験報告会
	12月15日	3年生直前スタートアップ講座 (リクルート)
	1月19日	グループディスカッション対策講座 (マイナビ)
	2月2日	直前選考対策講座 (マイナビ)

以上の就職支援は、学部教務委員会の就職担当委員を中心に、学生のキャリア、就職に対する意識、関心を高めるとともに、企業説明会、エントリーシート・面接・筆記試験等の対策講座、内定者による就職活動体験報告会等を開催するなどサポートを行っている。また、学生の就職、進路状況の把握に努め、学生の進路指導や情報提供を行っている。

会社案内や求人等の情報提供も重要な就活支援活動である。事務棟1階にある学生ロビーを有効活用し、学生生活の身近なところに就職情報やキャリア関係情報を閲覧できるスペースを提供するとともに、求人情報や会社説明会の情報については、電子掲示板「Myもみじ」を利用した迅速な情報提供に努めている。

国際共創学科独自の取組として、令和2年度から、日本での就職を目指す外国人留学生

向けに、英語による就職ガイダンスを実施している。

表 3-3-3 に令和 3 年度卒業生の就職・進学率を示し、表 3-3-4～5 に就職・進路状況を示した。卒業生数は学年定員とほぼ同数の 36 名である。そのうちの 6～7 割程度の学生が就職を希望し、2～3 割の学生が進学を希望していることがわかる。就職希望者に対する就職率は、約 96%になる。進学希望者に対する進学率は 100%であり、全ての希望者が進学を果たしている。

なお、表 3-3-3 にあげた希望者数は、最終学年での就職・進学希望者数を集計したものである。

表 3-3-3 令和 3 年度卒業生 就職・進学率

令和4年3月31日現在

卒業年度	卒業生数	就職				進学				その他 (※)	卒業生全体に対する希望割合	
		希望者	決定者	就職率 (%)		希望者	決定者	進学率 (%)			就職希望 (%)	進学希望 (%)
				対希望者	対卒業生			対希望者	対卒業生			
令和3年度	36	23	22	95.7%	61.1%	10	10	100.0%	27.8%	3	63.9%	27.8%

(※) 進路就職システム未入力者有

2. 新型コロナウイルス感染症流行への独自の対応(学部共通)

新型コロナウイルス感染症の世界的流行をうけて、令和 2 年度は急遽、様々な形で人の移動が制限されることとなった。このため、学生が遠隔授業による履修、課外活動の中止、外出の自粛等により心理的ストレスを増加させていることが危惧された。特に新入生においては、入学式をはじめガイダンスやオリエンテーション行事も中止となり、知人、友人のできにくい状況に置かれた。そこで、本学部では、学部学生が心の健康を維持できる環境を整えることを目的として、独自に学生の心や行動に関するオンラインアンケートを実施することとした。回答は任意で、回答結果をチューターや指導教員と共有し、支援が必要と考えられる学生にはチューター・指導教員から連絡を取り、必要であれば保健管理センター等の専門部門の支援につなげる体制とした。初回のアンケートは令和 2 年 5 月の連休明けに行い、その後は対面授業が再開されるまでの間、3 週間に一度のペースで計 5 回実施した。

また、学生企画により、令和 2 年 11 月に 1, 2 年次生と上級生との交流会を開催した。令和 3 年度は学生や教職員が企画した学生交流会を計 5 回開催し、開催経費の一部について、総合科学部後援会から支援を受けた。

3. 総合科学部後援会からの支援(学部共通)

総合科学部後援会は、総合科学部の学生の保護者の会で、学生の教育、課外活動、就職指導等の支援事業、国際交流の円滑な運営のための支援事業、教育研究活動に関する会員向け広報活動を実施している。

学生への支援として、入学直後の新入生オリエンテーション行事経費、外国留学支援金、教育実習経費支援金、外国人留学生との国際交流懇親会経費、卒業記念品の贈呈等を行っている。

新型コロナウイルス感染症に関連して、令和2年度は抗菌マスクケースと除菌ウェットシートを、令和3年度は不織布マスクを、希望する学生に配布した。

また、令和3年度は学生や教職員が企画した学生交流会について、以下のとおり開催経費の支援をうけた。

学生企画の1年生交流会： 飲料、景品等

学生企画の2年生交流会： 飲料、景品等

教員企画の学生交流会（テニス）： 景品等

教員企画の学生交流会（サッカー）： 用具

教員企画の学生交流会（創作スポーツ）： 景品等

4. ひろだいそうか基金(学部共通)

総合科学部は、学生のさまざまな学外活動を支援し、総合科学の教育・研究の発展に寄与することを目的として、令和元年度に広島大学基金内に「ひろだいそうか基金」を設けた。この寄付金「ひろだいそうか基金」を原資として、学生の留学促進に資することを目的に、令和3年度から語学能力試験受験料支援制度を実施している。これは、外国の大学や研究機関に長期留学する際に入学許可の必要要件として求められる語学能力試験（TOEFL®、IELTS™等）の受験料の半額（千円未満は切り捨て）を補助するというもので、令和3年度は15人の学生がこの制度を利用した。

5. 総合科学部同窓会からの支援(学部共通)

総合科学部同窓会から、学生に卒業・修了記念品を贈呈されている。また、同窓生に対して上述のひろだいそうか基金に対する寄付を募り、同窓会が代表して寄付されている。

6. 点検・評価

(1) 効果が上がっている事項

原則として日本人学生には1学期以上の留学を必修としているため、海外留学未経験の学生には、まず1年次向けの短期留学プログラム「STARTプログラム」に参加し、日本とは異なる文化・環境を体験することを推奨している。平成30年度および令和元年度は新生生の約4割がSTART等の短期プログラムに参加した。また、前述のとおり1年次からの留学ガイダンスや個別相談などのUEAによる手厚い支援を受け、1期生の27人が令和元年度に1学期以上の海外留学を実施した（留学が必修ではない学生も含む）。

しかし、令和2年度からは新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響で、多くのプログラムが中止となり、一部はオンラインによる実施となった。令和3年度の後期から、海外留学を徐々に再開している。

国際共創学科の学生は、希望者は全員、入学後の2年間に池の上学生宿舎に入居することができる。これは、外国人留学生と日本人学生が日常生活を含めて共同生活を送ることによる共修効果を重視した特別措置である。また、前述のとおり、学科の学生交流

室を設けている。国際共創学科は授業だけでなく新入生ガイダンスから全て英語で行われる学科のため、入学直後の1年間は、多くの日本人学生にとって大きな試練であり、自身の語学能力を含めて自信を失いがちな時期である。また、多くの外国人留学生にとっても、初めての海外生活でのストレスや、日本語能力が十分でない場合の日常生活における様々な困難等に直面する時期でもある。学生寮や学生交流室で日常的に交流がしやすい環境は、そうした苦しい時期を互いに助け合いながら乗り越えていく場として機能していると考えられる。

年2回行っている就職内定者による就職活動体験報告会では、「身近な先輩の体験談を直接聞くことで就職活動のイメージができた」、「自分のすべきことが見えた」、「参加してよかった」等の感想があり、おおむね好評である。このような支援活動が、就職実績につながっていると考えられる。卒業後直ちに就職あるいは進学をし、卒業後の進路状況は良好であると言える。

(2) 改善すべき事項

海外留学派遣において、大学間及び部局間の国際交流協定締結に基づく学生交流を進めている。今後、より多くの学生交流が生まれるようにすることが課題である。新たな協定校を増やし、学生交流体制の整備を一層進めることにより、より多くの学生派遣が実現できるように取り組む必要がある。

7. 今後の方針（改善すべき事項について）

学生の留学・生活・就職などの面における支援活動については、おおむね問題なく対応してきた。一方で、学生の海外派遣に関しては、今後様々な希望が出てくると思われるので、国際委員会において今後とも的確かつ柔軟に対応していきたいと考える。

学生生活支援については、情報の共有化を関係教員間で徹底し、問題を抱える学生がいた場合への対応を素早く行う必要がある。

就職支援関連では、就職ガイダンスの定期的な開催を継続していくとともに、学生のニーズや社会情勢の変化に応じたガイダンスを企画し、学生のキャリア設計へのさらなる意識向上を図る。就職活動スケジュールの見直しが度々検討される昨今、学生に必要な情報の迅速な提供にも努めていく必要がある。

表 3-3-4 人間探究領域卒業生の進路状況（人）

年度	進学		教員	就職 (教員以外)	その他	計
	自研究科	他大学等				
令和3年度	10	0	0	22	4	36

表 3-3-5 国際共創学科卒業生の就職・進路状況

令和3年度

進路区分	進路先名	業種小分類名	雇用形態	人数
一般企業	KOKOIKU総合学習塾	学習支援業（社会・職業教育，学習塾など）	正職員	1
一般企業	アイ・シー・ネット株式会社	情報通信業（情報サービス）	正職員	1
一般企業	ニッタ株式会社	製造業（ゴム製品）	正職員	1
一般企業	マツダ株式会社	製造業（自動車，輸送機械器具）	正職員	1
一般企業	楽天カード株式会社	金融業（金貸業，クレジットカード業等非預金信用機関）	正職員	1
一般企業	株式会社 イーオン	学習支援業（社会・職業教育，学習塾など）	正職員	1
一般企業	株式会社 キャリアプランニング	その他のサービス業（職業紹介・労働者派遣業）	正職員	1
一般企業	株式会社 シンプレクス・ホールディングス	情報通信業（情報サービス）	正職員	1
一般企業	株式会社 セントメディア	その他のサービス業（職業紹介・労働者派遣業）	正職員	1
一般企業	株式会社 ベネッセスタイルケア	社会保険・社会福祉・介護事業	正職員	1
一般企業	株式会社 ワールドインテック	その他のサービス業（他に分類されないもの）	正職員	1
一般企業	株式会社 中国四国博報堂	専門・技術サービス業（広告）	正職員	1
一般企業	株式会社TANABE FARM	農業	正職員	1
一般企業	株式会社フォーイット	専門・技術サービス業（広告）	正職員	1
一般企業	株式会社マザーハウス	製造業（革・毛皮製品）	正職員	1
一般企業	本田技研工業株式会社	製造業（自動車，輸送機械器具）	正職員	1
公務員(国家)	門司税関	公務（国家公務）	正職員	1
公務員(地方)	Ambon City Hall	公務（地方公務）	正職員	4
公務員(地方)	福岡市	公務（地方公務）	正職員	1
博士課程前期	国立大学法人 広島大学	学校教育（学校，幼稚園など）		10
その他				4

36